



第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野1	自然・環境		
基本方針	美しい風景を育て、豊かな自然と共生する持続可能な社会の構築		
政策1	良好な自然環境や景観の次代への継承		
関連するSDGs			
主な担当課・担当係	産業観光課農政係・耕地林務係/住民環境課生活環境係/建設水道課維持管理係		
課題と方針	<p>快適な暮らしや産業の発展との調和を図りながら、良好な自然環境と大切なふるさとの景観を次代に継承します。</p> <p><重点課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー設備等の環境や景観との調和 森林や農地の荒廃化防止と多面的機能の維持・保全 多様化する特定外来生物への対応 不法投棄の未然防止 		
行動目標	自分たちの手で大切な里山を守ろう！		
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)
	耕作放棄地率<施策2>	9.4%	8.5%
	住民評価		
	里山・森を守る満足度<施策1>	30.5%	↑
	ふるさとの景観を守る満足度<施策2>	27.6%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
C	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 環境や景観に配慮した多様な取組が各分野で開始され、持続可能な循環型社会の構築に向けた機運の醸成が進んでいる。 耕作放棄地率は既に目標値を上回った。 		
	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 景観計画に基づく具体的な取組等にまでは至っていないため、景観づくりの推進体制の強化。 特定外来生物の生態や駆除方法等について、住民理解を浸透させていく啓発強化。 <p><方向性></p> <ul style="list-style-type: none"> 継続的な森林整備及びR6年度末に策定予定の「地域計画」に基づく農地の集約化等により、森林及び農地の保全を推進していく。 住民や事業者と協働で取り組む景観づくりの体制整備（協定制度の積極活用、景観づくり団体等の育成、景観アドバイザー等の活用等）について計画的に進めていく。 不法投棄未然防止の新たな監視強化対策として、デジタル技術を活用した監視体制等の構築や運用等を検討していく。 		
A 非常に成果あり (目標を上回った)			
B 相当程度成果あり (目標の7～8割達成)			
C 成果あり (目標の5～7割達成)			
D 成果が少ない (目標の5割未満)			

施策1		豊かな自然環境の保全・継承					達成度評価	担当係等
①	将来にわたり生活環境及び自然環境に悪影響を及ぼすおそれのある施設建設等については、迅速に調査を行うとともに、必要に応じて審査・指導を行います。						B	生活環境係
②	生態系を脅かす特定外来生物の把握・移入防止・早期駆除に努めます。						D	生活環境係
③	森林の有する多面的機能が持続的に発揮されるよう、間伐、広葉樹林化等を推進します。						B	耕地林務係
④	松くい虫やナラ枯れなどの被害の拡大を防止し、森林の保護に努めます。						B	耕地林務係
⑤	農薬や化学肥料の使用を抑えた環境にやさしい農業を推進します。						B	農政係
K P I	対応するKPIは住民評価指標のため、次期総合計画策定時に検証・評価							
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・町自然環境保全条例に基づく、開発行為許可等に係る調査、審査、指導の実施。 ・特定外来生物（アレチウリ・オオキンケイギク等）の一部駆除を実施。 ・森林の里親促進事業提携企業による植樹（270本）、東高原桂山など間伐の実施(約1.5ha)等。 ・有機農業の普及促進に向けた取組の開始、環境保全直接支払事業やフェロモン防除の推進 など 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> ・開発行為等に対する事前協議段階からの調査と指導の徹底により、自然環境保全を図っていく。 ・特定外来生物の生態や駆除方法等について、住民理解を浸透させていくための啓発強化が必要。 ・継続的な森林整備（植林、間伐など）により、森林保全・景観形成に効果があがっており、今後も計画的に森林整備を進めていく。 ・町内産有機農産物の学校給食への導入及び栽培者育成の取組を契機に、農薬や化学肥料の使用を抑えた循環型農業の取組を強化していく。 							
施策2		ふるさとの景観の保全・育成					達成度評価	担当係等
①	景観条例・景観計画を基に、町民や事業者と協働で良好な景観づくりに努めます。						C	維持管理係
②	耕作放棄地や荒廃農地の発生防止と解消を図り、景観の維持と保全に努めます。						A	農政係
③	監視活動を強化し、ごみの不法投棄の未然防止を図ります。						C	生活環境係
④	河川や用水、ため池などの整備は、自然に最も近い材料や工法を用いて周辺環境の保全に努めます。						D	耕地林務係
K P I	耕作放棄地率					農政係		
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	9.4%	—	—	—	—	8.5%	109%	
実績		7.8%						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・景観条例に基づく規制により景観保全の強化を図るとともに（届出件数：4、景観審議会開催回数：1）、景観計画に基づき景観重要眺望路線を設定（長野荒瀬原線、北信五岳道路）し、良好な眺望景観づくりに向けた取組に着手。 ・定期的に農地パトロール、農地利用状況調査等を実施するとともに、荒廃農地利活用促進交付金の活用促進とうにより、荒廃地の発生防止・解消に努めた。 ・不法投棄物の監視及び回収（週1回/8ヶ月間）の実施、不法投棄監視連絡員等との連携や警察など関係機関との協働による複合的な対処の実施、一斉清掃活動等を通じた不法投棄禁止の啓発の実施 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> ・景観計画における重要眺望点の設定、住民や事業者と協働で取り組む景観づくりの体制整備（協定制度の積極活用、景観づくり団体等の育成、景観アドバイザー等の活用等）等について、計画的に取組を進めていく。 ・維持保全すべき農地の明確化と担い手等への農地集積により、耕作放棄地の抑制に一定の効果があがっている。策定予定の「地域計画」（R6年度末）に基づき、農地の集約化・流動化を促進し農地保全を図っていく。 ・不法投棄の監視と回収は、不法投棄の抑止効果に一定の成果が見られることから、今後も継続的に実施していく。また、新たな監視強化対策としてデジタル技術を活用した監視体制等の構築や運用等を検討していく。 							


第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野1	自然・環境			
基本方針	美しい風景を育て、豊かな自然と共生する持続可能な社会の構築			
政策2	自然の恵みの享受と環境への負担軽減			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	産業観光課農政係・耕地林務係/住民環境課生活環境係/企画課企画係/教育委員会子ども保育係・子育て支援係/建設水道課			
課題と方針	<p>豊かな自然環境の価値・機能や資源の魅力を最大限に活かしながら、環境負荷の少ない持続可能なまちづくりを進めます。</p> <p><重点課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学びや体験の場としての自然環境の魅力発信と活用の機会や場づくり ・ 地域に潜在する多様な再生可能エネルギーの活用 ・ 脱炭素社会や循環型経済など持続可能な社会構築に対する意識啓発 			
行動目標	町の自然をめいっぱい楽しもう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	林業体験参加者数<施策1>	22	200	
	自然体験プログラム数<施策1>	13	100	
	民間保育施設を含む信州型自然保育認定園数<施策1>	4	4	
	森林整備・木材活用・自然体験等提供を行う団体<施策1>	0	1	
	町の事務・事業におけるCO ² 排出量<施策2>	4,391t	4,078t	
	1人1日当たり可燃ごみ排出量<施策2>	488g	396g	
	住民評価	自然に親しむことができる機会を増やす満足度<施策1>	27.8%	↑
		省資源・資源循環の推進満足度<施策2>	28.1%	↑
		家庭ごみの分別の徹底や減量化、リサイクルなどに取り組んでいる<施策2>	92.8%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
A 順調 (目標以上に進捗)	B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)	C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)	D 遅れている (目標の5割以下の進捗)	
				C
<課題>				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 再生エネルギー活用や脱炭素社会の推進は、専門性が極めて高いことから、実効性のある施策を着実に進めて行くための専門人材の確保や体制づくり。 ・ 自然体験等の機会については、現時点ではプログラムとして体系的に整備できていないため、プログラム等を企画運営していく体制づくりと提供していく事業者等の確保と育成。 				
<方向性>				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状の取組レベルではゼロカーボンの達成は難しい見通しにあるため、R5年度に策定予定の「地球温暖化対策実行計画区域施策編」の中で、再生エネルギー活用や省エネルギー機器の普及促進施策等を明確に位置づけて、積極的な取組を進めていく。 ・ 剪定枝、食物残渣、枯れ枝等の有機性資源の有効活用の取組（バイオ炭、堆肥化、バイオマスエネルギー等）を検討し、資源の循環型モデルの構築を目指していく。 				

施策1	自然と親しめる場や機会の創出						達成度評価	担当係等
①	森林や里山の自然とふれあう機会を創出し、森に対する親しみと理解を深めます。						A	耕地林務係
②	町の自然を親子で体感・体験できるプログラムを創出します。						D	地域振興係/子育て支援係
③	自然の親しみ方や関わり方を伝えるインストラクターを養成します。						D	地域振興係/耕地林務係
④	町内の森林整備を促進し、森林環境や町内産木材を活用したプログラムを創出します。						D	耕地林務係
⑤	自然に親しめる公園（町民の森）の整備など、憩いの場づくりを進めます。						C	耕地林務係
⑥	自然に親しめる公園の整備を、地域と一緒に手づくりで進めます。						C	建設係
K P I ①	林業体験参加者数（人）						耕地林務係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	22	—	—	—	—	200	105%	
実績	210							
K P I ②	自然体験プログラム数（プログラム）						地域振興係/子育て支援係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	13	—	—	—	—	100	21%	
実績	21							
K P I ③	民間保育施設を含む信州型自然保育認定園数（園）						子ども保育係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	4	—	—	—	—	4	100%	
実績	4							
K P I ④	森林整備・木材活用・自然体験等提供を行う団体数（団体）						耕地林務係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	1	0%	
実績	0							
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の里親促進事業による植樹や下草刈りの実施（参加者210名）、小学校「緑の少年団」活動の推進。 ・自然体験（スノーシュー、キャニオニング等）プログラムの実施（8回：参加者188名） ・農村体験、自然体験プログラムの企画及び運営（13メニュー：参加者510名） ・牟礼駅前自然公園の整備及び地元住民や高校生ボランティア活動による植樹の実施。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> ・自然体験等の機会は、現状は体験イベント等の実施に留まっており、「プログラム」として体系的に整備していくことが必要。 ・森林整備、木材活用、自然と親しむ機会等を提供しプログラム等を運営していく推進母体や団体等の設立が課題。 							

施策2	脱炭素・省資源・省エネルギー・資源循環の推進						達成度評価	担当係等
①	LED照明やペレットストーブ※などの省エネルギー機器の普及促進を図ります。						C	生活環境係/耕地林務係
②	環境に配慮しながら、太陽光発電、地中熱、小水力発電等の再生可能エネルギーの活用やクリーンエネルギー自動車※の導入など、脱炭素に寄与する取組を積極的に進めます。						B	生活環境係/企画係
③	りんごの剪定枝、間伐材などのバイオマス資源の利活用を研究します。						B	農政係/企画係
④	ごみの分別を徹底し、ごみの減量、再利用、再資源化を促進します。						A	生活環境係
⑤	ごみの減量やリサイクルなどの環境学習を推進し、町民の環境への理解・関心を深めます。						C	生活環境係
⑥	公共施設に電気自動車充電設備の設置を計画的に進めます。						C	企画係/生活環境係
K P I ①	町の事務・事業におけるCO2排出量						生活環境係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	4,391t	—	—	—	—	4,078t	100%	
実績		4,070t						
K P I ②	1人1日当たり可燃ごみ排出量						生活環境係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	488g	—	—	—	—	396g	112%	
実績		353g						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅用太陽光発電設備設置に対する補助交付（8件）。 ・クリーンエネルギーの導入（芋川用水への小水力発電、公共施設のオンサイトPPA、公用車のEV化、EV充電設備導入等）促進の検討と具体化。 ・剪定枝活用による薪ストーブ利用者とのマッチングの実施（提供者：6名/薪利用者：13名）。 ・年2回の町内一斉清掃活動の実施、広報紙等を通じてゴミの分別やリサイクル等の啓発、環境レポートの作成と公表等。 ・生ごみ処理機器、容器等に対する補助の実施、リユースを目的とした古着回収の実施など。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入の推進により、二酸化炭素排出量は徐々に減少傾向にあるが、現状の取組レベルではゼロカーボンの達成は難しい見通しにあるため、R5年度に策定を予定している「地球温暖化対策実行計画区域施策編」の中で、再生エネルギー活用や省エネルギー機器の普及促進施策等を明確に位置づけ、積極的な取組を進めていく。 ・「可燃ごみの減量」と「3R（スリーアール）」について、引き続き町民理解の浸透と実践を進めるため、講習会や出前講座等を通じて、啓発活動を積極的に進めていく。 ・環境教育に関する施策や取組み、推進方法等について検討し行動計画としてまとめることで、各機関連携のもとに事業推進していく体制を整備していく。 ・選定枝の薪ストーブ活用の取組が順調に進捗しているが、引き続き剪定枝、食物残渣、枯れ枝等の有機性資源の有効活用の取組（バイオ炭、堆肥化、バイオマスエネルギー等）を検討し、資源の循環型モデルの構築を目指していく。 							


第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野2	学び		
基本方針	ふるさと環境を活かした人材育成と一人ひとりの豊かな人生の創造		
政策1	安全・安心で「生きる力」を育む教育環境づくり		
関連するSDGs			
主な担当課・担当係	教育委員会総務教育係・学校給食係		
課題と方針	<p>多様化・グローバル化が進む社会のなかで、ふるさとに誇りをもって豊かな人生を歩める力を育む教育環境をつくれます。</p> <p><重点課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の資源（自然・歴史・文化・産業）を活かして幼少期から学べる機会の充実 ・多様な個性や能力、価値観を理解・尊重できる環境づくり ・確かな学力を身に付けられる安全・安心な教育環境の確保 		
行動目標	ふるさとを愛し、人を思いやる心を育てよう！		
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)
	中学校の英検受験率<施策1>	34.8%	50.0%
	ネットワーク環境整備学校数<施策1>	3校	3校
	平成27年度からの奨学資金の貸付人数（累計）<施策2>	21人	30人
	学校給食における地元農産物の使用率 米<施策2>	100%	100%
	じゃがいも<施策2>	15.1%	35.0%
	玉ねぎ<施策2>	21.6%	35.0%
	住民評価	町ならではの教育環境づくり満足度<施策1>	36.7%
	誰もが安心して教育を受けられる環境の整備満足度<施策2>	35.0%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
B	<成果>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の資源や人材を活用した学習機会を積極的に設け、地域を知り学び地域への愛着を育む教育を促進。 ・町費による加配措置等により手厚い支援が可能となり、個に応じた豊かな育ちと学びが確保されている。 		
A 順調 (目標以上に進捗)	<課題>		
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒数の減少に対応した学びの保障と学校づくりの推進。 ・コミュニティスクールの取組強化と地域人材等の確保。 ・飯綱町らしい教育環境の確立。 		
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)	<方向性>		
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)	<ul style="list-style-type: none"> ・経済状況等による格差の拡大や不登校問題をはじめ、子どもたちや保護者を取り巻く環境が複雑化する中で、様々な側面において「安心して学べる」環境の確保と支援を引き続き進めていく。 ・学校指導要領や画一的なカリキュラムに縛られ過ぎず、子どもたち一人ひとりのニーズに即した教育をデザインし、「多様な学び」を実践できる体制や仕組みづくりを検討していく。 		

施策1	飯綱町ならではの教育環境の構築						達成度評価	担当係等
①	集団による多様な活動の場を確保するなど、児童・生徒数の減少に対応した学校づくりを推進します。						D	総務教育係
②	町独自に教員を確保し、きめ細かな学習指導を行うなど、児童・生徒一人ひとりの個性と能力を伸ばす教育を推進します。						B	総務教育係
③	地域の自然や歴史、文化、産業を学ぶ機会や資料を提供し、ふるさとを愛する心が育つ環境を推進します。						B	総務教育係
④	豊富な知識、経験、特技を持った地域住民と学校を結びつけ、地域ボランティアが体験学習等の支援をするシステム（飯綱町コミュニティスクール）を構築し、飯綱町ならではの地域密着型の教育を推進します。						B	総務教育係
⑤	ICT（情報通信技術）を活用した教科学習を積極的に進め、子どもたちが個に応じた学習に意欲的に取り組める環境づくりを推進します。						B	総務教育係
⑥	小中学校に英語の専門教員やALT（外国語指導助手）を独自に配置するなど、グローバル化に対応した教育を推進します。						B	総務教育係
⑦	学童期の学びは、そこに至る乳幼児期に育まれた遊びを通した学びが土台となっていることから、園・小接続カリキュラムの作成を進め、幼児期の学びや育ちを小学校教育につなげるよう連携を図ります。						C	総務教育係
⑧	スクールバス等の通学手段や通学路の安全を確保し、子どもたちが安心して通学できる体制を整備します。						C	総務教育係
⑨	多様な学びの機会を確保し、子どもたちの学びを保障します。						C	総務教育係
K P I ①	中学校の英検受験率（％）						総務教育係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	34.8	—	—	—	—	50.0	56%	
実績		28.1%						
K P I ②	ネットワーク環境整備学校数（校）						総務教育係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	3	—	—	—	—	3	100%	
実績		3						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・町費講師の配置によるきめ細やかな教育環境の整備（牟礼小：10名、三水小：9名、飯綱中：6.5名）。 ・各小中学校で、それぞれ地域人材を講師に迎え、地域を知り学ぶ学習を実施。 ・コミュニティスクールを核に、学校と地域の連携強化（「おらほの応援団」事業など）。 ・学校活動や家庭学習におけるタブレット端末活用の日常化、電子黒板の導入、ICT教員の配置など、学校におけるICT化の推進。 ・保小中連携による一貫した学びの支援体制の強化、放課後登校や家庭学習などへの支援による学びの保障。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> ・町費による加配措置により、個に応じた細やかな支援ができ、児童生徒のより良い学びと育ちに寄与している。一方で、児童生徒数の減少が進む中で、財政面も考慮しながら、適切且つ計画的な加配措置が必要である。 ・コミュニティスクールの取組を強化していくため、地域の皆さんなど学校を支えていく人材の確保を進めていく必要がある。 ・町ならではの教育環境整備として、保小接続カリキュラムの作成や子どもの育ちを中心に置いた町独自の一貫した連携システム等の構築を進めていく。 							

施策2	誰もが安心して教育を受けられる環境の整備						達成度評価	担当係等
①	町の全ての人が家庭の経済状況等にかかわらず、安心して学ぶことができる機会を確保します。						B	総務教育係
②	いじめの早期発見・早期対応を図るなど、いじめや不登校等の問題を抱える子どもたちへの支援を充実させます。						B	総務教育係
③	子どもの発達段階に応じてきめ細かな教育が施されるよう、全ての5歳児と保護者を対象とした臨床心理士等による相談体制を充実させ、必要に応じて子どもの生活支援等につなげます。						B	総務教育係
④	食物アレルギーを持つ児童・生徒には、アレルギーの原因となる食材を使用しないなど、全ての児童・生徒が安心して食べられる学校給食を提供します。						B	学校給食係
⑤	地産地消推進のため、町内直売所等の協力を得て町の農産物を積極的に用い、手づくりのおいしい給食の提供に努めます。						C	学校給食係
KPI①	平成27年度からの奨学資金の貸付人数（累計）（人）						総務教育係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	21	—	—	—	—	30	90%	
実績	27							
KPI①	学校給食における地元農産物の使用率（％） 米						学校給食係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	100	—	—	—	—	100	100%	
実績	100							
KPI②	学校給食における地元農産物の使用率（％） じゃがいも						学校給食係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	15.1	—	—	—	—	35.0	68%	
実績	23.7							
KPI③	学校給食における地元農産物の使用率（％） 玉ねぎ						学校給食係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	21.6	—	—	—	—	35.0	85%	
実績	29.7							
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・奨学資金貸付事業、要保護等児童生徒就学援助費の給付、教材費補助、英語検定料補助等の実施。 ・町独自にソーシャルワーカーを配置し、いじめや不登校等の対応と支援を実施（年間272時間を各校に派遣）。 ・5歳児相談事業により、就学に向けた適切な対応と支援を実施。 ・生産者や関係者等で組織する「学校給食会議」を設置し、地元農産物・有機農産物の学校給食への使用拡大に向けた仕組みづくりと食材供給体制づくりを推進。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> ・経済状況により、学ぶ機会に格差や損失を生じさせないよう、社会情勢を見極めながら、引き続き適切な支援策を講じていく。 ・子どもたちの育ちと学びについては、家庭環境による影響もあるため、児童生徒への直接支援だけでなく、家庭に対する支援を関係機関と連携して進めていく必要がある。 ・地元食材の学校給食への使用率を引き続き高めていくとともに、地元産有機食材の学校給食への積極的活用を図り、オーガニック給食を進めていく。 							

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】


分野2	学び			
基本方針	ふるさと環境を活かした人材育成と一人ひとりの豊かな人生の創造			
政策2	スポーツ活動の推進・文化芸術の創造と継承			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	教育委員会生涯学習係／産業観光課農政係・商工観光係／企画課地域振興係・企画係			
課題と方針	<p>スポーツや文化芸術の価値を共有して、より多くの町民がこれらの活動に親しみ、関われる環境や体制づくりを推進します。</p> <p><重点課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツや文化芸術との多様な関わり方（する・みる・ささえる）への対応 ・既存施設の活用や地域資源を保全する活動支援 ・各種スポーツの指導者や伝統文化の継承者の育成 			
行動目標	健康な心と体を育てよう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	スポーツ団体参加者数<施策1>	932人	1,100人	
	スポーツ少年団リーダーの養成者数(累計)<施策1>	69人	70人	
	地域密着型プロスポーツ応援観戦者数<施策1>	0人	180人	
	歴史ふれあい館の入館者数<施策2>	2,422人	3,000人	
	アップルミュージアム入館者数<施策2>	8,399人	13,000人	
	文化財等を活用したイベント開催数<施策2>	3回	5回	
	住民評価	多様な活動機会の創出満足度<施策1>	34.5%	↑
		文化の保存・継承満足度<施策2>	30.9%	↑
		地域の行事や集まりに積極的に参加している(地域の会合、お祭りなど)	59.7%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
B	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いいづなコネクトWEST等を拠点に、スポーツに触れ親しむ機会や交流の場が増加しつつある。 ・様々な文化継承等の取組により、地域資源の保存に対する若い世代の関心が向上。 ・アップルミュージアムでの作家等による企画展は、文化芸術に触れる機会として有効に機能。 			
A 順調 (目標以上に進捗)	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ活動の推進及び文化芸術の創造、継承を図るための、指導者や後継者の確保育成。 ・スポーツや文化芸術への気軽に触れる機会を増やし、興味関心を高めていくための工夫と新たな環境の整備。 			
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)	<p><方向性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民が気軽にスポーツや文化芸術に親しむ機会を増やしていくため、既存事業の内容等も見直していくとともに、気軽に楽しく参加できるイベントの実施など、スポーツや文化芸術に触れる多様な環境づくりを進めていく。 ・各種スポーツの指導者や伝統文化の継承者の確保育成に向け、周辺市町村との連携や民間事業者の活用なども検討していく。 			
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)				
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)				

施策1	誰もがスポーツに親しめる環境整備						達成度評価	担当係等
①	町民運動会、球技大会、元旦ジョギング大会等の町民参加型スポーツイベントの充実や新たな企画など、より多くの人々がスポーツ活動に参加し親しめる機会を創出します。						B	生涯学習係
②	スポーツ関連団体等が企画運営するスポーツ推進活動やイベントを支援します。						B	生涯学習係
③	いづなコネクトWEST等の施設を活用して、町内外者のスポーツ交流を創出します。						B	地域振興係
④	地域・団体等が企画運営する地域資源を活かした活動を支援します。						D	生涯学習係／企画係
⑤	各種スポーツ団体の選手の育成や指導者の養成・確保などを支援します。						B	生涯学習係
⑥	地域密着型プロスポーツの応援観戦を支援し、子どもから大人まで広くスポーツ観戦の機会を創出します。						B	企画係
K P I ①	スポーツ団体参加者数（人）						生涯学習係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	932	—	—	—	—	1,100	91%	
実績		997						
K P I ②	スポーツ少年団リーダーの養成者数（人：累計）						生涯学習係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	69	—	—	—	—	70	100%	
実績		70						
K P I ③	地域密着型プロスポーツ応援観戦者数（人）						企画係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	180	56%	
実績		100						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・町民球技大会、元旦ジョギング大会、ソフトバレーリーグ戦、各種スポーツ教室等の実施。 ・いづなコネクトWESTを活用したスポーツプログラム等の提供。 ・スポーツ少年団、スポーツ協会、スポーツクラブ等を通じた選手及び指導者の育成。 ・長野パルセイロのホームタウンゲーム2試合で町民応援バスツアーの実施。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化や事業のマンネリ化等により、スポーツイベント等の参加者数が減少傾向にある。町民がより参加しやすいスポーツイベントの在り方について改めて模索し、必要に応じて内容を見直していく必要がある。 ・いづなコネクトWESTを一つの拠点とし、町内外の様々な人々を対象とした多様なスポーツ交流事業を、官民協働により展開していく。 ・スポーツをする機会の確保や選手及び指導者の育成が大きな課題となっているため、周辺市町村との連携や民間事業者等の活用も視野に、具体的な施策を改めて検討していく。 							

施策2	伝統文化の保存・継承						達成度評価	担当係等
①	食育活動を通じて町の豊かな農産物や食文化への理解の促進を図ります。						B	農政係／企画係
②	有形・無形の自然・歴史・文化的資源の保存、継承、活用に努めます。						C	生涯学習係
③	町の伝統や自然、歴史に関する各種講座を開催するなど、ふるさとへの誇りや愛着心の醸成を図るとともに伝統文化等に携わる人材を育成します。						B	生涯学習係
④	自然や伝統文化の発信拠点・学習拠点として、歴史ふれあい館やアップルミュージアムの展示内容の充実やリニューアルによる機能強化を図ります。						B	生涯学習係／商工観光係
K P I ①	歴史ふれあい館の入館者数（人）						生涯学習係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	2,422	—	—	—	—	3,000	88%	
実績		2,651						
K P I ②	アップルミュージアム入館者数（人）						商工観光係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	8,399	—	—	—	—	13,000	73%	
実績		9,453						
K P I ③	文化財等を活用したイベント開催数（回）						生涯学習係/地域振興係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	3	—	—	—	—	5	80%	
実績		4						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・町の食文化や農産物などの伝承を目的に「食の匠」育成講座を、食育推進講座（「雑穀から米へ」をテーマに、主食の変遷を学びんだ他、「箱膳」体験による実習で食文化への理解を深めた）の実施。 ・歴史文化に関わる各種講座の実施。 ・歴史ふれあい館及びアップルミュージアムでの様々な企画展等の開催 ・歴史ふれあい館のリニューアルに向けた基本構想の策定。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> ・食育活動の担い手である町内女性グループの高齢化と会員減少が進んでいるため、大切な食文化の継承と食育活動を継続していくための後継者の確保と育成が急務である。 ・歴史ふれあい館を核とする歴史文化資源の継承・活用を更に図っていくため、施設展示のハード面の再整備（R7年度のリニューアルオープンを目標）と講座や学習機会等のソフト面における工夫・改善を進めていく。 ・文化継承に携わる人材は高齢化が進んでいることから、幅広く人材の確保育成の取組を進めていく必要がある。 ・アップルミュージアムの老朽化も進んでいるため、施設改修と展示内容及び施設機能等を含めて、計画的にリニューアル構想の検討を進めていく。 							

施策3	創造的な文化芸術活動の支援	達成度評価	担当係等
①	文化芸術団体等が企画運営する文化芸術推進活動やイベントを支援します。	B	生涯学習係
②	文化、芸術に関する各種講座を開催するなど、文化芸術活動の推進と人材の育成を図ります。	B	生涯学習係
K P I	施策3に対応するKPIなし		
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・アップルミュージアムを活用し、町民や町内作家等の文化芸術活動の発表の場として展覧会や企画展を開催。 ・いづな大学やいづな教室事業を通じた、文化芸術活動の推進と人材育成の実施。 		
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
B	<ul style="list-style-type: none"> ・文化協会の会員数は減少傾向にあり、活動の停滞化等も危惧されるため、会員数減少に対する支援や対応が必要。 ・アップルミュージアム等だけでなく、町内の様々な施設を活用して、町民や作家等の文化芸術活動の発表の場や機会を設けていくなど、町民が文化・芸術に触れる機会を広げる工夫と拡充を図っていく。 ・文化芸術に興味関心を持ち、活動を始めてみようとする参加者を増やしていく工夫が必要な他、文化芸術活動の推進を牽引していく人材を発掘・養成していくことが課題。 		

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野2	学び			
基本方針	ふるさと環境を活かした人材育成と一人ひとりの豊かな人生の創造			
政策3	多様な学びの機会の創出と生涯学習の推進			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	教育委員会生涯学習係／保健福祉課福祉係／企画課地域振興係・人口増推進室			
課題と方針	<p>生涯にわたって学べる場や機会を確保し、学びを通じて、地域コミュニティの継承や一人ひとりの豊かな人生の創造につなげます。</p> <p><重点課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来のまちづくりを担う人材の育成、学びの場づくり ・地域コミュニティ活動の場の確保と既存施設の有効活用 ・生涯にわたる多様な学びのニーズへの対応、スキルを有する地域人材の活用 			
行動目標	学ぶ楽しさ分かち合い、活動の輪を広げよう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	学習支援活動（いづな大学、いづな教室、まちづくり講座等）の開催数<施策1>	0回	40回	
	子ども向けプログラム開催数<施策1>	5回	10回	
	生きがいづくりにつながるプログラム開催数<施策1>	15回	20回	
	公民館図書室と中学校図書館の蔵書数<施策2>	56,993冊	58,000冊	
	公民館図書室と中学校図書館の図書貸出数<施策2>	19,959冊	21,000冊	
	住民 評価	多様な学習機会の創出満足度<施策1>	32.2%	↑
		生涯学習拠点の充実満足度<施策2>	33.3%	↑
		楽しみながら何かを学ぶ取組をしている（グループ活動、趣味の会等）	33.4%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
B	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いづなコネクト（WEST・EAST）を中心に、多様な学びや体験の場づくり、コミュニティ創出などの取組が進んでいる。 ・いづなコネクトやメーラプラザについては当初見込みを上回る順調な利用者数の伸びと利活用状況にある。 			
	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに合った多様な学びの場の提供と、学びのニーズに対応できる地域人材の確保育成。 ・継続的な人材育成につながる、仕組みづくりと運営体制の整備。 			
A 順調 (目標以上に進捗)	<p><方向性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な学びの機会を提供するための、講師や指導者等が不足していることから、スキルバンク等の開設について改めて検討していく。 ・継続的な人材育成の仕組み、生きがいづくり等の仕組みとして、教育や体験プログラム等の創出・提供を進めていくため、庁内関係課や民間事業者等との連携による体制整備を推進していく。 ・いづなコネクト（WEST・EAST）やメーラプラザの更なる施設利用者増を推進し、地域住民に愛される「地域活性化拠点」としての運営に努めていく。 			
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)				
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)				
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)				

施策1	多様な学習機会の創出・地域社会との連携						達成度評価	担当係等
①	公民館や図書館等において、社会環境や住民ニーズに応じた魅力ある講座や教室を企画するなど、幅広い年代層の住民が参加できる多様な学習機会の提供に努めます。						B	生涯学習係
②	社会教育団体等の活動を支援するとともに、活動内容等の情報提供を行うなど、誰もが・いつでも・気軽に学べる環境づくりを推進します。						C	生涯学習係
③	経験や知識・能力をもった地域の人材を講師等に活用することにより、地域の支え合いの環境づくりを推進します。						C	福祉係/生涯学習係
④	健康や生きがいづくりに関する講座や世代間の交流の機会を設けるなど、誰もがいきいきと生活できる環境づくりを推進します。						C	地域振興係/福祉係/生涯学習係
⑤	子どもたちに自らの可能性に気付かせる学びの場や、仕事のやりがい等を知り・学べるプログラムの提供を通じて、未来の町を担う人材育成を図ります。						B	地域振興係
K P I ①	学習支援活動（いづな大学、いづな教室、まちづくり講座等）の開催数（回）						生涯学習係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	40	80%	
実績		32						
K P I ②	子ども向けプログラム開催数（回）						地域振興係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	5	—	—	—	—	10	60%	
実績		6						
K P I ③	生きがいづくりにつながるプログラム開催数（回）						地域振興係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	15	—	—	—	—	20	95%	
実績		19						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・いづな大学、いづな教室の実施。 ・いづなっ子クラブ、いづな教室、読み聞かせボランティア等の講師に地域人材を活用。 ・健康いきいき教室の実施。 ・いづなコネクトWESTを拠点とした、ヘルスプログラム（スポーツプログラム、ヨガ教室、健康教室等）の実施。 ・可能性発見プログラム（小学生向け）、起業体験プログラム（高校生向け）等の人材育成プログラムの実施。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> ・いづな大学やいづな教室の参加者は減少傾向にあることから、ニーズに合った講座やメニューの提供について検討していく必要がある。 ・いづなコネクトWESTを拠点に多様なヘルスプログラム等を実施し、健康・生きがいづくりの環境整備に一定の成果が見られる。今後は、民間事業者が主体的に事業を推進するための支援と庁内関係課との連携により、生涯にわたり学び活躍する環境づくりの体制整備を図っていくことが必要。 ・多様な学びの機会を提供するための、講師や指導者等が不足していることから、スキルバンク等の開設について改めて検討していく。 							

施策2	生涯学習の環境づくり						達成度評価	担当係等
①	地域のコミュニティや学習の拠点となる地域集会施設の維持や整備を支援します。						B	人口増推進室
②	図書施設の機能やサービスの向上を図るとともに、乳幼児へ絵本等を贈る事業（ファーストブック等）や図書館イベント等を充実させることにより、町民の読書活動を推進します。						B	生涯学習係
③	民間活力を導入するなど、既存施設を地域活性化の拠点として活用を図る施設運営を推進します。						B	地域振興係
K P I ①	公民館図書室と中学校図書館の蔵書数（冊）						生涯学習係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	56,993	—	—	—	—	58,000	106%	
実績		61,316						
K P I ②	公民館図書室と中学校図書館の図書貸出数（冊）						生涯学習係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	#####	—	—	—	—	21,000	97%	
実績		20,300						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・集会施設整備事業補助金による地域集会施設の維持、整備への支援の実施。 ・図書利用サービスとして、県との協働事業「デジとしょ信州」（電子図書館サービス）を導入。 ・ファーストブック、セカンドブック、サードブックのプレゼント実施。乳幼児、小学生、中学生への読み聞かせの実施、図書館まつりやおはなし会等の開催、おすすめブックリストの作成と発行など。 ・「いいづなコネクト」（指定管理者：カンマッセいいづな）、多世代交流拠点「メーラプラザ」（指定管理者：社会福祉協議会）について、民間活力により活性化拠点として運営。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> ・集会施設整備事業補助金については、補助率を上げて地域の負担軽減を図っている。今後も地域コミュニティの拠点として適切な施設維持管理と活性化が図れるよう、ハード・ソフトの両面から支援を図っていく。 ・おすすめブックリストについては、ファースト・セカンドブックの配布時に合わせて配布し、乳幼児とその保護者の読書体験の促進を図っていくとともに、年齢に合わせた定期的な読み聞かせやイベント等を継続し、読書活動を推進していく。 ・いいづなコネクトEAST・WEST、メーラプラザの各施設の利用者数はいずれも増加しており、地域の活性化拠点として、当初見込み以上の効果的な活用が図られている。R5年度にいいづなコネクトEASTの3階の改修を予定しており、更なる施設利用者増を推進するとともに、地域住民に愛される「地域活性化拠点」としての運営に努めていく。 							

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】


分野3	産業・観光			
基本方針	創意工夫による新たな産業・しごとの創出と地域に根差した産業基盤の継承			
政策1	儲かる農業の推進			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	産業観光課農政係・耕地林務係			
課題と方針	<p>農業経営基盤の強化と多様な担い手の確保・育成を図るとともに、農業の価値と魅力を高めることにより、持続可能で競争力のある農業を推進します。</p> <p><重点課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業従事者の高齢化への対応、新たな担い手の確保・育成 ・鳥獣被害や耕作放棄地の増加、農地の荒廃化への対応 ・農産物のブランド力の更なる強化と持続可能なビジネスモデルの確立 			
行動目標	地元の食材をたくさん食べて、地域の農業をみんなで支えよう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	平成29年度からの新規就農者数（累計）<施策1>	9人	20人	
	認定農業者数<施策1>	108人	120人	
	担い手への農地利用集積延面積<施策1>	287ha	350ha	
	農業所得額<施策2、3>	1.0億円	2.0億円	
	農業収入額<施策2、3>	22.8億円	25.0億円	
	住民評価	農業経営基盤の維持・強化満足度<施策1>	16.9%	↑
		世界に誇る生産・販売体制づくり満足度<施策2>	28.3%	↑
		農産物のブランド化と販路開拓満足度<施策3>	22.2%	↑
		地元の食材を積極的に食している（家庭菜園、町内直売所利用含む）	76.1%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
B	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・過年度からの多様な取組の効果もあり、販売力やブランド力の向上、特産品開発、循環型農業の促進等の施策において一定の成果があがっている。 ・担い手への農地集積、鳥獣害対策等を計画的に推進しており、農地の荒廃化防止等に寄与。 ・新規就農者の獲得については、親元就農等も含めて一定数を確保できており、集落営農組織等の設立や農業の法人化等の機運も徐々に高まりつつある。 			
	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業従事者の高齢化や労働力不足等による、生産量の減少と生産基盤の衰退。 ・多様な担い手の確保と労働の省力化の取組強化、 ・農業収入、農業所得の安定化に向けた、「地域商社」機能の確立。 			
A 順調 (目標以上に進捗)	<p><方向性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の農業振興施策の柱として、生産力と競争力を高めるための生産基盤強化とその支援策を重点に展開していくとともに、多様な農業の担い手の確保育成に向けた取組を更に強力に進めていく。 ・経済性や効率性重視の農業だけでなく、環境に配慮した循環型・持続可能な農業生産への転換を進めていくことで、農産物の付加価値と農業の価値を高めていく。 ・様々な関係機関と農業者の連携体制を強化することで、「地域商社」機能を構築・確率することで、農業者の安定した収入確保と儲かる農業の実現を図っていく。 			
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)				
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)				
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)				

施策1	農業経営基盤の強化・持続可能な経営支援						達成度評価	担当係等
①	新規就農者や認定農業者への支援を充実させるとともに、集落営農の組織化や農業の法人化を促進・支援します。						B	農政係
②	農作業の受託や援農サービスの充実を図るとともに、スマート農業等による機械化・省力化に向けた取組を進めます。						B	農政係
③	農業を支える新たな活力として、兼業・多業農家や農業をより広い領域でビジネス展開する事業者など、多様な農業経営の担い手確保・育成を図り、地域農業の持続的発展を進めます。						C	農政係
④	経営規模の拡大を図る農家に対する農地の利用集積を進めるとともに、農道、用水路、ため池などの農業生産基盤・農業施設の整備を行います。						C	農政係／耕地林務係
⑤	自然災害や価格の低下等、様々なりスクに対応する収入保険等への加入促進支援を拡充するなど、農業経営の安定化に向けた取組を図ります。						B	農政係
⑥	中山間地域に適した作物栽培の奨励・新たな作物導入などにより、耕作放棄地の発生防止と農地の有する多面的機能の保持に努めます。						C	農政係
⑦	鳥獣被害を抑えるため、猟友会の活動や農家による自主防衛策への支援を行うとともに、侵入防止柵や広葉樹の植栽等による緩衝帯の整備を進めます。						B	農政係／耕地林務係
K P I ①	平成29年度からの新規就農者数（累計）（人）						農政係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	9	—	—	—	—	20	60%	
実績	12							
K P I ②	認定農業者数（人）						農政係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	108	—	—	—	—	120	93%	
実績	111							
K P I ③	担い手への農地利用集積延面積（ha）						農政係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	287	—	—	—	—	350	93%	
実績	327							
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者育成総合対策（国庫補助）による資金面の支援及び就農後の伴奏支援（専門化支援チームによる経営サポート）の実施や、町単独の後継者等就農支援事業による補助金の交付等。 ・認定農業者に対する農業機械等の購入補助、収入保険などへの加入補助、担い手への農地利用集積の促進。 ・農福連携や関係人口等の活用による、既存援農組織（助っ人クラブ、人材センター）の機能強化の検討。 ・スマート農業の推進（LPWA通信網等を活用した農業用観測センサーの試験設置など）。 ・農業経営支援の仕組（兼業や多業農業者などを含め、多様な農業経営の在り方等を学ぶ場）として、農業塾「いづなアグリチャレンジ」によるプログラムの実施。 ・用水路改修等の施設整備、侵入防止策の設置（奈良本地区）緩衝帯整備（倉井区）の実施 など。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の農業者だけでは農業を維持・継続しきれない状況も想定されるため、集落営農組織や農業法人などの設立・誘致等についても、引き続き積極的に支援していく必要がある。 ・多くの農家が人手不足であることから、援農機能の強化や農福連携や関係人口活用など多様な農業労働力確保の方策を進めていくとともに、農業労働の省力化に向けて、ドローン活用や農業ロボット等の最新技術の試験導入等、スマート農業の方向性について、更に調査・研究を進め導入可能なものを随時試験実施できる体制を整えていく。 ・R6年度に策定予定の「地域計画」に基づき、担い手への農地集積を促進するとともに、中山間地農業農村整備事業など国や県の補助事業を活用する中で、農道や用水路等の改修、圃場の整備や畑地転換など、計画的な生産基盤整備を進めていく。 ・奈良本地区の侵入防止柵設置は、計画エリアの設置が完了したことから、今後その防止効果を検証し、新たなエリアでの設置に向け推進を図っていく。 							

施策2	世界に誇る生産・販売体制の構築						達成度評価	担当係等
①	加工・販売拠点を起点に、六次産業化や「地産地商」によるビジネスモデルを構築するなど、農家の所得向上に向けた取組を加速させるとともに、農産業を軸とする「地域総合商社」機能の体制構築を進めます。						B	農政係
②	競争力のある産地づくりに向けて、生産性・効率性の向上のための基盤整備・体制構築を推進するとともに、ICT（情報通信技術）の活用や農産物の高付加価値化など、多角的な取組を進めます。						B	農政係
③	安全・安心で質の高い農業を実現するため、減農薬栽培や有機資源を活用した地域循環型の農業体系を進めます。						B	農政係
K P I ①	農業所得額（億円）						農政係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	1.0	—	—	—	—	2.0	2%	
実績		0.04						
K P I ②	農業収入額（億円）						農政係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	22.8	—	—	—	—	25.0	111%	
実績		27.7						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと振興公社を中核とした「地域商社機能」の構築と「地産地商」によるビジネス構築を進めるため、外部専門家による支援や地域活性化起業人等を活用して、新たな販売方法や販路構築等を展開。 ・競争力のある産地形成に向けて、計画的な基盤整備を推進していくため、国の補助事業を活用した大規模基盤整備等の導入検討を開始。 ・町オリジナルりんご品種（高坂林檎と赤果肉品種との配合）の開発等に着手。 ・有機野菜栽培を実践する「野菜塾」の開催、有機農産物の生産振興と学校給食への活用に向けた検討など。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> ・現段階では地域商社機能の確立は未達成であり、地域商社としての役割を牽引する事業体と位置付けている、ふるさと振興公社の機能強化や、町内の農業関係法人等との連携強化による、商社機能の確立を進めていく必要がある。 ・近年の気象変動による農産物の収量減等もあり、農業所得は低調であり、加えて農業者の高齢化・担い手不足等が加速しているため、農業振興の柱として、生産力・競争力を高めるための生産基盤強化施策等を展開していくとともに、多様な農業の担い手の確保・育成に向けた取り組みを更に強力に進めていく必要がある。 ・水田の畑地転換や荒廃地再生等により高収益作物への転換を進めることで、生産性・効率性の向上を図っていくとともに、農業者の意向を的確に把握しながら、ICT活用や生産基盤の整備・強化を計画的に進めていく。競争力のある産地づくりに向けては、JAや農業法人、民間企業と連携を密にしていくことで、地域が一体となった生産販売体制を強化していくことが必要である。 ・経済性や効率性を重視した農業生産だけでなく、環境に配慮した循環型・持続可能な農業生産への転換に向け、町内における有機農産物の生産者と作付面積を増やし、農産物の付加価値を高めていくことで、町の農業振興の発展と環境負荷の軽減による持続可能農業へとつなげていく。 							

施策3	農産物のブランド化と販路開拓	達成度評価	担当係等
①	農畜産物のブランド力・販売競争力を強化するため、こだわりや希少価値による独自のブランド商品開発等を推進するとともに、多様な販売・流通経路の構築による海外・首都圏への販路拡大を進めます。	C	農政係
②	学校給食などへ町内産農畜産物を安定して供給できる仕組みを構築し、地産地消を推進します。	B	農政係
③	町内産農畜産物を用いた特産品の開発・販売など、地域の資源や特性を活かした事業を支援します。	C	農政係
④	農業体験や農家民泊の受入れなど、消費者と生産者の交流機会などを通じ、農産業・農産物の持つ魅力と価値を高めます。	B	農政係
K P I	対応KPIは施策2同様／住民評価指標のため、次期総合計画策定時に検証・評価		
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物のプロモーション活動、イベント等への参加により、町内農産物の認知度とブランド力の強化を推進した他、首都圏等での新たな販売流通網の構築を進めた（上高地あずさ珈琲店や首都圏の百貨店との商流構築など）。 ・町内産有機農産物を学校給食に取り入れていく体制づくりを進めるため、有機学校給食会議を設置し有機食材の生産と活用の拡大の体制づくりを構築。 ・地域の農産物資源を用いた加工品の開発に対して経費の一部を補助（特産品開発支援事業補助金） ・県内の大学や県工業技術総合センターとの連携による特産品の開発研究の実施（高坂林檎を使用したりんごジュース、中温高圧処理によるコンポート、果皮蜜等）。 ・りんごの搾りかすを活用した「りんごレザー（粉末化したりんごの搾りかす原料とする合成皮革）」の開発・製造販売支援など。 ・農業体験（ワーキングホリデーなど）の受入、都市部の人を対象としたりんご栽培を学べる場、「りんご学校」の運営。 		
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
B	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物のプロモーションとして各イベントに参加し町の農産物等の販売やPRを行っているが、継続的な取組につながっていないため、新たな取組を模索していく必要がある。 ・上高地あずさ珈琲店や首都圏の百貨店との商流構築が進んできたことは成果であり、こうした独自の販路を更に構築、拡大していくことで、ブランド化と高付加価値化を図り、多様で安定した販売先の確立を進めていく。 ・推奨品制度は形骸化しており、登録後の効果的な活用と製造者のメリットが少ないことから、特産品の価値とPR効果を向上していく体制を強化するためにも、制度内容の見直しと改善を図っていく。 ・町内産農産物の学校給食への安定供給と、町内産有機農産物の学校給食への導入体制を構築していくためには、生産から搬入までを適切にマネジメント・調整していく人材が必要であり、供給体制づくりを進めていく上での人材確保が課題である。今後安定した供給体制の仕組みづくりを確立し、地産地消のみならず将来的なオーガニック給食を目指して、取組を加速させていく。 ・三本松加工所を拠点に農産物の加工品の研究、製造体制の構築が進み、商品開発の成果も徐々に出てきている。今後は開発した商品の販売促進や開発・製造した原料を活用した新たな商品づくりなどについて、町と連携して取組を実施していける事業者等に売り込んでいくなど、町内外の多様な事業者との協調関係を進めていく必要がある。 ・農業体験等を通して新規就農者の獲得や関係人口の創出に向けて各取組を実施しており、徐々に成果が生まれている。新たな取組として都市部企業と連携して町内での農作業体験を試験的に実施したが、こうした体験交流の機会を契機として、都市部人材・企業等と濃密な関係を構築していく仕組みづくりを進めていくことが必要である。 		

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】


分野3	産業・観光		
基本方針	創意工夫による新たな産業・しごとの創出と地域に根差した産業基盤の継承		
政策2	商工業振興によるにぎわいのあるまちづくりの推進		
関連するSDGs			
主な担当課・担当係	産業観光課商工観光係／企画課地域振興係・企画係		
課題と方針	<p>複数の事業の組み合わせや協業等により、安定した雇用の創出、既存事業の維持・承継、更には再生・拡大を図る取組を推進するとともに、地域の資源や特色を活かした創業・起業、企業の進出を積極的に支援し、地域活性化とにぎわいのあるまちづくりを推進します。</p> <p><重点課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用環境の安定化 ・既存の商店街のにぎわい再生 ・事業承継や新規事業の立ち上げに対するサポート強化 ・地域に根差した商工業の育成・強化 		
行動目標	町の商店を積極的に利用し、地域の商工業をみんなで支えよう！		
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)
	平成26年度からの空き店舗への出店件数（累計）<施策1>	4件	10件
	創業支援資金利用件数<施策1>	4件	5件
	企業誘致件数（累計）<施策1>	4件	6件
	特定地域づくり事業協同組合員数<施策2>	0者	4者
	創業比率<施策2>	1.53%	1.80%
	仕事に関するプログラムの開催数<施策2>	10回	10回
	コワーキングスペース利用者数<施策2、3>	1,100人	2,000人
	事業チャレンジ提案数（累計）<施策3>	27件	60件
	住民 評価	にぎわいのあるまちづくり満足度<施策1>	13.9%
雇用・就業の環境づくり満足度<施策2>		16.6%	↑
町内の店舗を積極的に利用している（スーパー、飲食店、コンビニ等）		73.5%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
C	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなコネクトを拠点とするしごとづくり支援やいろいろな事業チャレンジなどの取組を通して、創業や起業の機運を高めてきたことで、サテライトオフィスの誘致や空き店舗活用等は順調に進捗し、地域資源を活かした新たな事業創出や出店等も増加している。 ・様々なツールを活用し幅広く求人・就職情報等の提供ができていて、テレワーク等による多様な働き手が増加している。 		
	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街など町内既存事業者の後継者不足や活力の低下、商店街などまちなかの活性化。 ・若者が町内で働くことを選択できる環境づくりやシニア層等のセカンドキャリアの仕組みづくり。 		
A 順調 (目標以上に進捗)	<p><方向性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いろいろなフューチャースクール」のプログラム内容等の拡充（都市部企業・人材と町内事業者や起業人材等との交流やマッチング機会のプログラムづくり等）を進め、都市部からの仕事と人の流れを生んでいく仕組みを確立し、事業承継や空き店舗活用を活性化させていくことで、商店街等の再生と「まちなか」の活性化を図っていくことが必要。 ・地域資源の活用と磨き上げにより事業化を進める意欲ある町内外の事業者の発掘、誘致、連携を強化し、新たな産業と雇用の創出を図っていく。 		
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)			
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)			
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)			

施策1	歩きたくなるまちづくりの推進						達成度評価	担当係等
①	空き店舗や空き家を活用した創業・新規出店を支援するとともに、助成制度を充実するなど、企業の誘致に取り組みます。						B	商工観光係
②	商店街の活性化に向けたイベントや産業まつりを開催するなど、にぎわいの創出や消費の促進を高める取組を推進します。						C	商工観光係
③	創業支援や事業承継に関する講座を積極的に開催するなど、商店街のリーダーや商工業の後継者の育成を支援します。						D	商工観光係
④	制度資金や融資あっせん等により、企業の経営基盤の安定と強化に取り組みます。						B	商工観光係
⑤	クラウドファンディングの活用などによる、新たなビジネス展開を支援します。						D	商工観光係
⑥	民間活力による買い物しやすい環境づくりを推進し、地域経済の活性化を図ります。						B	商工観光係／DX推進室
K P I ①	平成26年度からの空き店舗への出店件数（累計）（件）						商工観光係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	4	—	—	—	—	10	90%	
実績	9							
K P I ②	創業支援資金利用件数（件）						商工観光係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	4	—	—	—	—	5	60%	
実績	3							
K P I ③	企業誘致件数（累計）（件）						商工観光係／地域振興係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	4	—	—	—	—	6	67%	
実績	4							
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き店舗活用補助金、創業支援補助金による、創業・起業家に対する支援の実施。 ・ 牟礼駅前夏祭りの開催支援 ・ 制度資金の融資あっせん、利子補給等による、経営安定化支援の実施。 ・ 移動販売事業補助金の創設（民間事業者により移動販売車が導入され、遠隔地の高齢者等の買い物手段を確保）。 ・ スマートグラスを活用した「お買い物サポート」の実証実験の実施。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創業や起業の機運を高め、空き店舗活用補助や創業支援補助なども拡充してきたことで、空き店舗活用や新たな出店等も増加しており一定の成果が得られているが、依然として空き店舗は点在するほか、既存店舗等の事業継続も不透明なことから、事業継承や事業者誘致などの支援策について更に強化していく必要がある。 ・ 現状の主だった商店街イベント等は、牟礼駅前夏祭りのみであり、商店街の活性化やと賑わいの創出に向けては課題も多い。商店街関係者等との意見交換や協議を重ね、効果的な取組や事業の方向性を探っていく必要がある。 ・ 商工会と連携し、創業支援や事業継承等に関する講座の開催や支援体制の整備を図っていく必要がある。 ・ スマートグラスを活用した「お買い物サポート」の実証実験が好評だったことから、本格的な運用を開始するとともに、引き続き買い物しやすい環境について、研究・検討を進めていく。 							

施策2	雇用・就業の環境づくり、創業・起業支援						達成度評価	担当係等
①	いづなコネクトEASTを拠点に、「しごとの創業」や「しごとを通じた交流」の展開を通じて、地域経済の活性化を図り、都市部から企業や人の流れを創出します。						C	地域振興係/人口増進室
②	「しごと」に関する情報の提供について多くの機会を設けるとともに、関係機関と連携し、若者が地域で働きやすい環境を創出します。						C	商工観光係/地域振興係
③	労働意欲を持つ高齢者などの経験・知識や能力を活かした就業機会の創出を支援します。						D	商工観光係/地域振興係
④	多様な働き方を推進し、性別や年齢、障がいの有無などの個々の属性にとらわれず、全ての人安心して地域で働くことのできる環境を整えます。						D	地域振興係/商工観光係/福祉係
⑤	町全体の仕事を組み合わせて年間を通じた仕事を創出し、地域の担い手を確保するとともに事業者の維持・拡大を推進します。						D	企画係
KPI①	特定地域づくり事業協同組合員数（者）						企画係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	4	0%	
実績	0							
KPI②	創業比率（%）						地域振興係/商工観光係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	1.53	—	—	—	—	1.80	42%	
実績	0.76							
KPI③	仕事に関するプログラムの開催数（回）						地域振興係/商工観光係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	10	—	—	—	—	10	190%	
実績	19							
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・しごと創出プログラム「いづなフューチャースクール」事業を通じた、ローカルベンチャー育成と都市部等との交流創出の実施、ワーケーションツアーの試験実施など ・無料職業紹介所の設置や就職情報サイト「おしごとながの」等により、しごとと情報を提供。 ・いづなコネクトEASTの「ツクリバ」を中心に、若い世代が気軽に創業・起業などの相談ができる機会と仕事づくりをサポートする場を提供。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
D	<ul style="list-style-type: none"> ・「いづなフューチャースクール」のプログラム内容等の拡充（都市部企業・人材と町内事業者や起業人材等との交流やマッチング機会のプログラムづくり等）により、都市部からの仕事と人の流れを生んでいく仕組みを構築していく必要がある。 ・ワーケーション構築事業は、様々な対象者をターゲットに試験実施したことで、多様な都市部企業や人材に対し、町に対する関心を高めることができた。今後はワーケーションを継続的に受入れていく体制整備を進めていく。 ・「ツクリバ」を拠点に、情報提供、交流の場づくり、ビジネス・起業セミナー等の支援提供などを展開・強化していくことで、若者が町内で働くことを選択していける環境づくりと支援体制を整備していく。 ・特定地域づくり事業協同組合制度の活用については、事業者等との話し合いを進めながら、今後の方針と方向付けをしていくとともに、雇用及び仕事創出による事業者の担い手確保等に向けては、特定地域づくり事業協同組合制度以外の方策についても研究・検討していく。 							

施策3	稼げる地域・多様な仕事のある地域の実現						達成度評価	担当係等
①	地域資源を活用した産業を支援し雇用の創出を図ります。						C	商工観光係
②	地方での新たな働き方と多様なしごとを創出するため、サテライトオフィス等の整備を進めるとともに、県外企業等の誘致を積極的に推進します。						B	地域振興係/ 商工観光係
③	創業や創業後のヒントや情報を得られるセミナー等を実施し、いづな事業チャレンジに向けたサポートを積極的に推進することで、ローカルベンチャーの育成に努めます。						C	地域振興係
④	町内のコワーキングスペース等を活用し、多様な働き方が可能な地域社会の形成に向けた雇用創出型テレワーク組織の整備を進めます。						B	地域振興係/子 育て支援係
⑤	いづな事業チャレンジのOB・OGへのアフターサポートを充実させ、稼げるビジネスの創出を進めます。						C	地域振興係
K P I	コワーキングスペース利用者数（人）						地域振興係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	1,100	—	—	—	—	2,000	37%	
実績		735						
K P I ②	事業チャレンジ提案数（累計）（件）						地域振興係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	27	—	—	—	—	60	50%	
実績		30						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・いづな事業チャレンジによるビジネス提案とアフターサポートによる、地域資源活用と産業創出の伴奏支援の実施。 ・いづなコネクTへのサテライトオフィス誘致の促進。 ・いづなコネクT EASTの「ツクリバ」を中心に、若い世代が気軽に相談・集える機会と場を提供。 ・テレワーク等の推進を図るため、在宅ワークセミナー、SNS活用セミナー等の開催。ワークセンター（iワーク）を活用した多様な働き方の提案と実践。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援の仕組みづくりの確立に加え、町内事業者との連携・協働を進めることで、町内資源の活用とそれによる新たな産業・雇用の創出を図っていく。また、りんご残渣を原料とするりんごレザの取組などをきっかけに、地域資源に改めて着目し、事業化を図る意欲ある町内外事業者と連携を強化していく。 ・仕事の場を選ばない業種や企業に対し、町の自然環境の良さ等の環境による仕事の能率向上などについてSNS等を活用し発信・PRするなどし、都市部企業の誘致を促進していく。 ・いづなコネクTは、EAST・WESTともにサテライトオフィススペースは全て入居済の状況。R5年度に予定している、いづなコネクT EASTの3階の改修工事にあわせ、引き続きサテライトオフィス誘致を進めていく。 ・いづな事業チャレンジへの参加者は年々減少傾向にあることから、創業・起業に向けたプログラム内容及び支援内容等を随時見直し、創業・起業を目指す人材の呼び込みと支援の仕組みを継続・発展させていくことが必要。 ・研修会やセミナー等を開催することで、参加者のスキルアップが図られ、テレワーク等による多様な働き手は増加している。今後は、テレワークの専門スタッフ・コーディネーター等を配置することで、雇用創出を含めた組織化を推進していく。 ・ワークセンター利用者から、リーダー等を育成していくなど、多様な働き方による雇用や仕事を創出していくロールモデルの構築やテレワークの組織化を推進していく。 							

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】


分野3	産業・観光			
基本方針	創意工夫による新たな産業・しごとの創出と地域に根差した産業基盤の継承			
政策3	町の魅力を活かした観光まちづくりの推進			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	産業観光課商工観光係／企画課企画係			
課題と方針	<p>地域の暮らしや産業とともにある美しい自然や景観、歴史・文化、食などの町の魅力の醸成を図り、それを来訪者に満喫してもらう観光まちづくりを推進します。</p> <p><重点課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウィズコロナ時代における新しい旅のスタイルへの対応 ・インバウンド（訪日外国人旅行者）のニーズの取り込みと受入れ環境の整備 ・周辺市町村等との広域的な連携 ・来訪・滞在を促す魅力発信力の強化 ・利便性の高い交通手段の確保 			
行動目標	みんなで観光客を「おもてなし」しよう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	公園整備数<施策1>	0か所	4か所	
	観光客数<施策2>	15万人	50万人	
	外国人宿泊者数<施策2>	0人	100人	
	町観光サポーターの登録者数<施策2>	7人	30人	
	飯綱町ファン倶楽部会員数（累計）<施策2>	420人	500人	
	インバウンド周遊プランの作成<施策2>	1プラン	3プラン	
	iバスコネクト利用者数<施策3>	89人	320人	
	住民 評価	誰もが懂れる観光地づくり満足度<施策1>	15.7%	↑
		国内外からの誘客の促進満足度<施策2>	12.4%	↑
観光客をおもてなししたい気持ちがある		45.9%	↑	
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
C	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光サポーターの増 ・iバスコネクトの運行形態見直しによる利用者増。 			
A 順調 (目標以上に進捗)	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力のある観光商品と体系的な観光メニューやプログラムの整備。 ・観光メニューやプログラム等を企画、運営していく人材や事業者の確保と体制整備。 ・インバウンド誘客、ニーズに応じた二次交通の整備、旅行会社や町内事業者等との連携強化など。 			
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)	<p><方向性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光コンテンツづくりや情報発信等について、総合的に運営していく体制整備を強化していくことが必要。 			
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトドア観光は今後も一定の需要が見込まれる他、体験型観光との親和性も高く、安定した誘客につながる可能性があることから、官民協働により魅力的な観光メニューづくりを進めていく。 			
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源の掘り起こしや客層のターゲットなど、観光事業の方向性を戦略的に定めることで、施設整備や更新についても計画的に進めていく。 			

施策1	誰もが憧れる地域づくりの推進						達成度評価	担当係等
①	地域の歴史や文化、自然など、特色ある資源を活かした町ならではの体験型の観光メニューを充実させます。						C	商工観光係
②	農業、スポーツ、文化など分野間の連携を深め、魅力ある観光プログラムを提供します。						D	商工観光係
③	計画的な施設の更新や充実を図るとともに、国外を含む外部からの視点を取り入れるなど、観光資源の磨き上げを行います。						D	商工観光係
④	県内市町村及び隣接県や事業者との広域観光連携を推進します。						B	商工観光係
⑤	町内に多世代が交流できる公園を整備し、多様な人々が集うイベント等を開催することで町の露出度を高め、にぎわいを創出します。						C	建設係/地域振興係/ 商工観光係/企画係
KPI①	公園整備数（か所）						建設係/地域振興係/商工観光係/ 企画係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	4	25%	
実績		1						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・東高原観光施設の指定管理者など、民間事業者を中心に、多様な観光メニューを整備。 ・信越9市町村広域観光連携会議などの広域観光連携の取組に参画し、観光事業の広域連携を進めている。 ・牟礼駅の高台に展望台を備えた自然公園の整備を実施。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者により、ある程度の観光メニューは提供されているものの、町として体系的に観光メニューやプログラムが整備されていない状況にある。魅力のある観光商品等を提供していくためには、観光メニューやプログラムを企画できるプランナー等の存在が不可欠であることから、専門知識を有する人材を登用する必要がある。また、官民を問わず、町の観光コンテンツづくりと整備、情報の発信等を、総合的に運営していく体制整備が必要である。 ・観光資源の掘り起こしや客層のターゲットなど、観光事業の方向性を戦略的に定めることで、施設整備や更新についても計画的に進めていく必要がある。 ・牟礼駅前に整備した自然公園については、立地条件を活かした効果的な活用や地域との連携による活用方法を検討していく。 							

施策2	国内外からの誘客の促進						達成度評価	担当係等
①	広域的な観光連携の取組のなかで、効率的な情報発信に努めるとともに、SNSなどの時代に即した様々な媒体による情報提供を進めます。						D	商工観光係
②	ウィズコロナに応じたインバウンド誘客策を検討し、外国人観光客の招致と受入体制の充実を図ります。						D	商工観光係
③	来訪者に対して、地域の案内・紹介等を行う観光ボランティアや町の魅力、各種情報を口コミなどで発信する観光サポーターの育成を図るなど、町を愛する全ての人により町をPRする機運を高めます。						C	商工観光係
④	旅行会社の体験ツアーなど、民間事業者と連携し新たな誘客を図ります。						C	商工観光係
⑤	ウィズコロナに応じたアウトドア等の観光施設を整備し、誘客を推進します。						C	商工観光係
KPI①	観光客数（万人）						商工観光係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	15	—	—	—	—	50	21%	
実績	21							
KPI②	外国人宿泊者数（人）						商工観光係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	100	51%	
実績	51							
KPI③	町観光サポーターの登録者数（人）						商工観光係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	7	—	—	—	—	30	37%	
実績	11							
KPI④	飯綱町ファン倶楽部会員数（累計）（人）						商工観光係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	420	—	—	—	—	500	53%	
実績	265							
KPI⑤	インバウンド周遊プランの作成（プラン）						商工観光係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	1	—	—	—	—	3	0%	
実績	0							
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・観光サポーターの確保と育成（R4年度5名増） ・長電バス(株)への委託事業で「冬の日帰り満喫バスツアー」を実施（参加者117名）し誘客を促進。 ・民間事業者によるグランピング施設の拡充、オートキャンプ場の計画的な整備など、アウトドア施設設備を進め誘客を推進。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的に観光情報を発信するために、観光協会や町内の観光事業者等との連携により、訴求力のある情報を的確に発信していく体制づくりと、SNS等を用いた情報発信に精通する人材の確保と活用を進めていく必要がある。 ・インバウンド誘客については、機運が醸成されていない状況にある。観光事業者等関係者と議論を深め、まずはインバウンド誘客の機運を高めていくことから取り組みを始めることが必要。 ・アウトドア観光は、今後も一定の需要が見込まれる他、体験型観光との親和性も高く、安定した誘客につながる可能性が高いため、キャンプやワカサギ釣りの需要に応えられる施設整備を進めていく。 ・これまで旅行会社等との連携は進んでいない。単なる観光ではなく「体験」をメニューとする観光ツアー需要は今後高まっていくと思われるため、旅行会社への売込や民権事業者と連携したツアー開発について積極的に進めていく。 							

施策3	二次交通の利便性向上						達成度評価	担当係等
①	i バスコネクトの運行ダイヤ等を見直し利便性の向上に努めます。						A	企画係
②	E-バイクを活用する町内周遊方法について検討します。						D	商工観光係
③	カーシェアリング等、移動手段の確保について検討します。						D	商工観光係/企画係
K P I	i バスコネクト利用者数（人）						企画係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	89	—	—	—	—	320	161%	
実績		514						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ i バスコネクトの運行方法をデマンド方式から定時路線方式へ変更し、町外者が予約せずに利用できる仕組みに見直しを実施。 ・ 牟礼駅にレンタルE-バイク（4台）の設置（R4利用実績4名）。 ・ 観光協会でサイクリングコースを案内する等、E-バイク等を活用した町内周遊を促進。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> ・ i バスコネクトについては、定時路線方式に運行方法を変更したことで、利用者は大きく増加したものの、1乗車あたりの行政支出は依然として大きいため、費用対効果の観点から運行形態等の更なる改善や見直し等について検討が必要。 ・ 現状はE-バイクの有効活用が図れなっていないため、魅力のあるサイクリングコースの造成やサイクルステーション等の整備を進めていく必要がある。また、E-バイクの活用に向けては、サイクルコンピューターの導入を検討するとともに、訪日外国人等の誘客をターゲットにした、サイクリング周遊プランを整備していく必要がある。 ・ 町内来訪者の二次交通手段として、カーシェアリングなどの導入について研究・検討を進める必要があるが、二次交通手段としては、レンタカーやタクシーの利用ニーズが高いと考えられるため、カーシェアリングの導入検討に併せて、タクシー事業者の育成やタクシー料金の廉価化に向けた取組について研究・検討を進めていく。 							

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】


分野4	安全・基盤			
基本方針	人口減少や自然災害、生活環境の多様なリスクに対応した安全な暮らしの実現			
政策1	暮らしを支える生活機能の維持・継承			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	建設水道課建設係・維持管理係・上水道係・下水道係／総務課危機管理室			
課題と方針	<p>既存のインフラの老朽化や生活を支えるインフラを維持しつつ、将来の人口動態を踏まえた計画的な整備・維持管理を進め、快適で安心・安全な生活基盤を継承します。</p> <p><重点課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口や交通量の減少への対応 ・インフラの長寿命化 ・安全で利便性の高い基盤整備 			
行動目標	ごみ拾い、草刈り、雪かきなどを積極的に行おう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	道路改良率<施策1>	49.8%	50.7%	
	道路愛護活動実施地区<施策1>	31地区	35地区	
	水道有収率<施策2>	69.40%	80.00%	
	下水道水洗化率<施策2>	91.50%	93.00%	
	住民 評価	暮らしと交流を支える道路整備満足度<施策1>	33.7%	↑
		生活環境の向上を図る上下水道整備満足度<施策2>	51.3%	↑
		安全・安心な居住環境整備満足度<施策3>	21.4%	↑
		ごみ拾い、草刈り、雪かきなど地域のボランティア活動に積極的に参加している	47.9%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
B	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町道、上下水道等のインフラについては、計画的に整備を進めており、安心・安全な生活基盤の維持が図られている。 ・普光寺焚荒地区に4棟（8世帯）の若者住宅の建築が進捗。 			
A 順調 (目標以上に進捗)	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的な道路整備及び道路環境の維持に向けた、財源・人材等の確保。 ・安定した給水体制の確保と持続的な水道事業、下水道事業の効率的で持続可能な経営。 ・今後、増加が見込まれる特定空き家等の対策。 			
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)	<p><方向性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路改良については、地域の実情に応じて計画的に整備を進めていく。また、道路改良にあたっては、安全な通行確保を最優先し、自然災害防止対策や小規模側溝整備等を中心に整備を進めていく。 			
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した給水体制の確保と持続的な水道事業の観点から、計画的な水道料金の改定（5年毎10%程度の改定）を計画していく必要がある。また、下水道事業の効率的で持続可能な経営に向け、策定計画に基づき、施設統廃合、老朽化対策等を着実に進めていく。 			
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅需要に対応するため、今後も計画的に町営住宅等の整備・修繕を図っていくとともに、空家等を活用した住宅の供給体制整備等についても検討していく。また、特定空家の措置等についても、町としての方針・対策を具体的に検討していく。 			

施策1	安全で快適に通行できる道路整備・維持管理						達成度評価	担当係等
①	町道の整備計画を策定し、計画的に幹線道路を整備するとともに、地域の実情に応じた生活道路の改良を進めます。						C	建設係
②	歩道の整備により歩行者の安全性を確保するなど、効果的な道路整備を推進します。						B	建設係
③	町道、橋梁等を計画的に点検・補修することにより、生活に欠かせない町道等の安全性を確保します。						B	建設係
④	雪道の安全計画を見直し、車道・歩道の除雪体制を強化するなど、冬期間の道路の安全性を確保します。						B	維持管理係
⑤	町道管理を区・組が行う自主的活動に対し、道路愛護活動として支援を行います。						B	維持管理係
K P I ①	道路改良率 (%)						建設係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	49.8	—	—	—	—	50.7	98%	
実績	49.8							
K P I ②	道路愛護活動実施地区 (地区)						維持管理係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	31	—	—	—	—	35	74%	
実績	26							
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・町道については計画的に点検・補修を実施し、安全性の確保を図っている。橋梁については、R4年度に鳥居新橋・斑尾大橋の修繕を実施。 ・除雪については、町除雪計画に基づき作業体制の強化と安全性の確保に努めている。R4年度は、除雪体制の強化のため除雪車両1台（小型ロータリー除雪車）を購入。 ・町道のゴミ拾い、草刈り、修繕など、地域において自主的に道路維持管理を行う活動に対して補助金を交付。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> ・道路改良については、地域の実情に応じて計画的に整備を進めていく。また、道路改良にあたっては、安全な通行確保を最優先し、自然災害防止対策や小規模側溝整備等を中心に整備を進めていく。 ・通学時間帯等の車両の通行も多いことから、歩車分離を徹底した安全な歩道整備を進めていくことが必要である。 ・町道については、計画的に補修・改良を進め、引き続き安全性の確保に努めていく。また、町内の橋梁は老朽化が進んでおり、修繕が必要な施設が増加傾向にあるため、今後は施設修繕だけでなく、集約（撤去）も含めた計画的な整備を進めていく必要がある。 ・除雪については、町民からの要望も多く、細かな対応を求められるため、引き続き除雪・排雪の体制強化を進めていく必要があるが、オペレーターなど除雪作業を担う人材の確保が課題となっている。 ・地域が自主的に行う道路愛護活動は適切な道路維持管理に欠かせない活動であることから、今後も継続して支援を行うとともに、取組・支援内容等の拡充についても検討していく。 							

施策2	生活の基盤となる上下水道等の整備・維持管理						達成度評価	担当係等
①	水道施設や水道管の老朽化による更新並びに耐震化を計画的に行い、安定した給水体制を確保します。						C	上水道係
②	水道水源の保全を図るとともに新たな水源を確保します。また、水質の向上を図るため、水道施設の改良や水道管の布設替えを行い、安全・安心な水を提供します。						C	上水道係
③	下水道への接続の普及啓発を行うなど、水洗化率向上を図ります。						B	下水道係
④	下水道事業の効率的な経営を図るため、広域化・共同化事業により処理施設の統廃合を推進するとともに、施設の老朽化対策や更新費用を的確に捉え、将来にわたり持続可能な経営基盤の確保及び適切な維持管理を推進します。						B	下水道係
K P I ①	水道有収率 (%)						上水道係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	69.4	—	—	—	—	80.0	91%	
実績		72.5						
K P I ②	下水道水洗化率 (%)						下水道係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	91.5	—	—	—	—	93.0	99%	
実績		92.7						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・飯綱町水道事業基本計画(R5～R19)を策定し、R 6年度の牟礼・三水地区を統合した飯綱町水道事業を計画。 ・老朽管の布設替工事及び浄水場計測機器等の更新等の実施。 ・業務状況報告書の公表をはじめ、定期的に接続普及啓発を実施。R4年度は農業集落排水クリーンピアみなみ・クリーンピア倉井等の下水道状況資料に普及啓発記事を掲載し水洗化率向上を推進した。 ・農業集落排水施設クリーン上赤塩・クリーンピア倉井の公共下水道への統合に向け、町下水道全体計画の変更を実施した他、し尿等受入施設の建設を含めた計画の策定、管渠のストックマネジメント計画の策定などを実施。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> ・第1水源(大門川余剰水)を旧牟礼村の水源から飯綱町の水源に変更する契約書改定を実施したことで、安定給水の体制整備が進展した。 ・三水地区の主要浄水場を三水浄水場から日向浄水場に移行し、耐震機能を有する施設とする計画を進めていく。また、牟礼地区の第5・6配水池を統廃合し、新配水池の整備計画を進めていく。 ・安定した給水体制の確保と持続的な水道事業の観点から、計画的な水道料金の改定(5年毎10%程度の改定)を計画していく必要がある。 ・老朽管の布設替により、一時的に有収率は向上するが、漏水復元(新たな漏水が発生する現象)が起こるため、漏水復元を想定した対策と老朽管の計画的・継続的な更新が必要である。 ・水洗化率は、微増・横ばい傾向で、概成に近い状況にあるが、「建物の跡継ぎがない」等の理由から、下水道への切替をためらう方もみられるため、接続の動機付け等の聞き取りとその結果に基づく対応・支援等を検討していく必要がある。 ・下水道事業の効率的で持続可能な経営に向け、策定計画に基づき、施設統廃合、老朽化対策等を着実に進めていく。 							

施策3	安全・安心で快適な居住環境の整備・継承	達成度評価	担当係等
①	住宅の耐震診断や耐震補強の支援を行うことにより、町内建築物の耐震強化を促進します。	C	建設係
②	公共建築物やライフラインなどの耐震化を推進します。	C	危機管理室/各施設所管課
③	老朽化による倒壊等、保安上危険となるおそれのある空き家などの所有者へは指導を行うなど、適切な措置・対応を行います。	C	維持管理係
④	若者や高齢者等の多様なニーズに対応した町営住宅などの整備・確保を図ります。	A	維持管理係
K P I	住民評価指標のため、次期総合計画策定時に検証・評価		
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅耐震改修促進事業（耐震診断）の実施（R4実績：1戸）。 ・飯綱町国土強靱化地域計画（R4～R8の5ヶ年計画）に基づき耐震化等を推進。 ・特定空家（保安上危険となるおそれのある空家）1軒について、所有者への指導を目的とする調査を実施。 ・R4年度より3か年計画で普光寺焚荒地区に4棟（8世帯）の若者住宅の建築を実施。 		
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
B	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震改修に対する補助金はあるものの、改修費用に要する自己負担も大きいため、実際に改修工事にまで至らないケースが多いことから、耐震強化を促進するためには、耐震診断・改修に対する支援の拡充を図っていく必要がある。 ・公共施設の耐震化等については、施設更新・改修等のタイミングや、強靱化地域計画等に基づき順次実施していく。 ・特定空家等への対応については、現状は町民からの情報提供に基づく調査・指導等の実施を開始したところであるが、特定空家等の問題は、今後益々増加していくことが危惧され、更にその措置・対応も大きな課題となることから、調査・指導等の体制づくりを進めるとともに、今後は、特定空家の措置等についても、町としての方針・対策を具体的に検討していく。 ・町営住宅等については計画的に整備を進めており、一定の進捗状況ではあるものの、移住ニーズ等が増加していることもあり、住宅需要に対して供給が追い付いていない面もある。住宅需要に対応するため、今後も計画的に町営住宅等の整備・修繕を図っていくとともに、空家等を活用した住宅の供給体制整備等についても検討していく必要がある。 		


第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野4	安全・基盤			
基本方針	人口減少や自然災害、生活環境の多様なリスクに対応した安全な暮らしの実現			
政策2	地域の防災力・防犯力の維持・向上			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	総務課危機管理室・建設水道課建設係・保健福祉課福祉係・教育委員会総務教育係			
課題と方針	<p>自然災害や詐欺被害など、生活を取り巻く様々なリスクがあるなか、人口減少や高齢化で弱まる地域コミュニティや自助・共助※の力を高める、防災力や防犯力の維持・向上を図ります。</p> <p><重点課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・激甚化・頻発化する自然災害への対応 ・地域コミュニティによる防災力・防犯力の強化 ・災害リスクの高い地域における防災・減災対策 			
行動目標	日頃から備え、意識し、助け合おう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	自主防災組織の組織化率<施策1>	96.1%	100%	
	災害時支え合いマップを作成した地区数<施策1>	50地区	50地区	
	相互応援協定の締結件数<施策1>	36件	45件	
	火災発生件数<施策2>	3件	0件	
	シートベルト着用率（運転席・助手席）<施策2>	99.5%	100%	
	住民評価	災害に強いまちづくり満足度<施策1>	40.2%	↑
		安全に暮らせる社会づくり満足度<施策2>	32.5%	↑
		防災や防犯に対して、日頃から意識して備えている	67.0%	↑
	評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
B	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災計画や国土強靱化地域計画等に基づく、計画的な防災施策の推進・進捗。 ・交通安全対策、消費者トラブル防止、防犯施策など、計画に沿って進捗。 			
A 順調 (目標以上に進捗)	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践的な防災訓練等の実施、防災意識の高揚。 ・消防団員、自主防災組織、つながり隊等、地域防災や地域の安心安全を支える人材の確保と養成。 ・防災対策等を計画的に進めていくための財源の確保など。 <p><方向性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土強靱化計画に基づき、災害対策等の各施策の財源確保や整備計画等への具体的な反映を進め、防災体制の維持・強化を引き続き図っていく。 ・機能別消防団員の採用の検討など、社会実態に即した多様な活動参加形態や活動参加に対する柔軟な対応と体制を整えていくことで、地域防災の担い手やリーダー等を確保していく。 ・複雑化する消費者トラブルや犯罪等を未然に防ぐための対策強化を進めていく。 			
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)				
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)				
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)				

施策1	自然災害への対応力の強化						達成度評価	担当係等
①	災害対策を迅速かつ確に実施するため、防災活動の指針である地域防災計画を町の情勢等に応じて見直します。						A	危機管理室
②	土砂災害や洪水の危険性のある場所や地震による揺れやすさなどの危険度を示した地図（ハザードマップ）を随時更新・周知し、災害発生時の避難活動などへの活用を促進します。						A	危機管理室
③	防災訓練や地区の集会等あらゆる機会を捉えて防災意識を啓発し、自助、共助を育み、住民等の意識の高揚を図ります。						C	危機管理室
④	地域における自主防災組織の設立を推進するとともに、その活動を行う上で中心となる人材を養成します。						C	危機管理室
⑤	住民参加型の実践的な訓練を実施し、防災力の強化を図ります。						C	危機管理室
⑥	高齢者や障がい者等が安全に避難できる体制を確立するため、災害の避難時に支援が必要な要配慮者、避難行動要支援者、避難所や福祉施設等を表記した地図（災害時支え合いマップ）を作成し、その内容を周知します。						C	福祉係
⑦	防災行政無線の戸別受信機の普及率向上を目指すとともに、町のメール配信サービス等、複数の情報伝達手段を確保します。また、ドローン等のデジタル技術を活用した情報収集機能を確立するなど、被害状況の把握や防災情報基盤の整備を推進します。						B	危機管理室
⑧	災害に備え、救助活動等に必要な資機材・食料品・医薬品などの備蓄を進めます。また、新型コロナウイルス等感染症対策を講じた上での避難所の役割が求められていることから、段ボールベッドや間仕切り等の設置や運営に係る備蓄品の整備を進めます。						B	危機管理室
⑨	災害発生時における各種応急復旧活動に関する人的・物的支援について、他市町村や民間事業者等と協定（相互応援協定）を結び、災害時に柔軟に対応できる体制づくりを進めます。						B	危機管理室
⑩	町の国土強靱化地域計画の策定を踏まえ、山地や河川など災害の危険性のある箇所を的確に把握し、土砂災害対策など、計画的な整備を進めます。						B	危機管理室
K P I ①	自主防災組織の組織化率（％）						危機管理室	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	96.1	—	—	—	—	100	95%	
実績		94.7						
K P I ②	災害時支え合いマップを作成した地区数（地区）						福祉係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	50	—	—	—	—	50	100%	
実績		50						
K P I ③	相互応援協定の締結件数（件）						危機管理室	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	36	—	—	—	—	45	80%	
実績		36						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災計画やハザードマップ等の見直し、防災訓練及び防災意識啓発の実施など。 ・災害時住民支え合いマップの更新、「つながり隊」による支援体制の整備など。 ・防災行政無線、メール配信サービス、防災公式ツイッター等、複数の情報伝達手段の確保。 ・自主防災組織の運営等に対する補助、備蓄品（食料、飲料、トイレ等）の整備など。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練等は各地区で毎年実施されているが、訓練内容等の形骸化も見られるため、より実践的な訓練の実施を促していくとともに、引き続き多様な機会を捉えて防災意識の高揚啓発に努めていく。 ・高齢化等により自主防災組織を担う人材の確保が難しい地区もあり、リーダー等の人材養成が課題。 ・災害弱者の支援体制や、災害時における人的・物的支援体制の強化を図っていく。 ・国土強靱化計画に基づき、災害対策等の各施策の財源確保や整備計画等への具体的な反映を進め、防災体制の維持・強化を引き続き図っていく。 							

施策2	安全に暮らせる社会づくりの推進						達成度評価	担当係等
①	女性を含めた消防団員の加入を促進するとともに、消防団の訓練や広報活動を充実し、災害対応も含めた防災対策を推進します。						B	危機管理室
②	長野市（長野市消防局）と連携し、鳥居川消防署を中心とした常備消防・救急体制の充実を図ります。						A	危機管理室
③	消防団員のなり手不足解消に向けて、報酬等の見直しや能力や実情に応じて特定の活動にのみ参加する機能別消防団員※の採用等を検討します。						B	危機管理室
④	関係機関と連携し、シートベルトの着用等の街頭指導を行うなど、交通安全に対する意識の高揚を図ります。						C	建設係
⑤	通学路等の標識やカーブミラーなど、交通安全施設の充実を図り、通学路の安全確保を図ります。						C	建設係/総務教育係
⑥	警察署が学校などと協力して設置する「こどもを守る安心の家」等と連携し、子どもの安全を守る対策を推進します。						B	総務教育係
⑦	特殊詐欺や悪質商法の被害など消費者トラブルを防止するため、広域連携での消費生活相談窓口の活用を強化します。						B	生活環境係
⑧	老朽化した防犯灯は、定期的な点検や修繕等対策を講じます。また、必要な箇所への防犯灯の新設や移設を進め、犯罪の未然防止に取り組みます。						B	危機管理室
K P I ①	火災発生件数（件）						危機管理室	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	3	—	—	—	—	0	0%	
実績		2						
K P I ②	シートベルト着用率（運転席・助手席）（％）						建設係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	99.5	—	—	—	—	100	96%	
実績		96.0						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・長野消防協会と連携して消防団のPR事業を行うなど定期的に消防団への加入促進活動を実施。 ・鳥居川消防署を中心に、常備消防と救急体制の維持及び充実に向けて連携体制を強化。 ・消防団の報酬の引き上げの実施、他市町村における機能別消防団員の導入状況調査の実施。 ・交通安全運動週間に町内7箇所街頭指導による啓発活動の実施。 ・通学路点検により、路面標示とカーブミラーの更新、町内6カ所への看板設置を実施。 ・長野市消費生活センター等の専門相談員による消費生活や法律・税務等の相談機会の確保 ・老朽化している防犯灯の更新、青色防犯パトロールの実施など。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員数は減少傾向にあることから、今後は機能別消防団員の採用の検討など、社会実態に即した多様な活動参加形態や活動参加に対する柔軟な対応と体制を整えていくことで、団員の確保を図っていくことが必要である。 ・常備消防・救急体制の充実に向けて、引き続き長野市消防局と連携を強化していく。 ・通学路等の安全については、過去に整備した安全施設の老朽化が進んでおり、機能低下や路面標示欠損等が増えているため計画的な修繕・更新を進めていく。 ・昼間の留守宅が増えており、子どもたちを見守る目が減少しているため、「こどもを守る安心の家」の協力者等を増やしていく必要がある。 ・複雑化する消費者トラブルを未然に防止するための相談窓口機能については、引き続き広域連携により強化していく。 ・防犯灯については支柱が劣化してきているものが多いため、総合的な点検を進め、計画的に更新していく。 							

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】


分野4	安全・基盤			
基本方針	人口減少や自然災害、生活環境の多様なリスクに対応した安全な暮らしの実現			
政策3	将来にわたり持続可能な行政運営			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	総務課総務係・財政係・危機管理室・ふるさと納税推進室/企画課企画係・DX推進室/税務会計課収納係			
課題と方針	<p>人口減少・少子高齢化の進展により、今後より一層の厳しい行財政運営が余儀なくされることから、更なる効率化と透明性の向上を図ります。また、税金による財源確保のため課税物件の的確な把握及び収納率の維持・向上を図るとともに、多様な収納方法を検討して、納税者の利便性の向上を図ります。</p> <p><重点課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新たな生活様式」への行政サービスの対応 ・返礼品の充実によるふるさと納税額の増加 ・行政需要に対するデジタル化への対応 			
行動目標	自分たちのお金が適切に使われているかチェックしよう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	町の職員数（病院関係除く）<施策1、2、3>	136人	130人	
	職員提案制度による業務改善数<施策1>	0件	3件	
	出前講座の実施回数<施策1>	29回	100回	
	経常収支比率<施策2>	84.6%	80%以下	
	町税の収納率（固定資産税・住民税・法人税・軽自動車税）<施策2>	99.1%	99.0%	
	マイナンバーカード交付率（累計）<施策3>	17.5%	100%	
	住民 評価	信頼される行政運営満足度<施策1>	25.4%	↑
		持続可能な財政運営満足度<施策2>	21.8%	↑
		質の高い行政サービスの提供満足度<施策3>	24.5%	↑
税金の使われ方に対して関心を持っている		62.5%	↑	
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
B	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税額が過去最高の6億円超を達成。 ・住民アプリ「いなびいいづな」の運用開始による住民サービスの利便性の向上。 ・電子決裁システムの導入、ペーパレス化の推進等による事務効率化の向上。 			
A 順調 (目標以上に進捗)	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様化する住民ニーズに対応していくための、組織及び職員個々の資質向上。 ・SDGsに対する理解、意識の醸成。SDGsの目標達成を踏まえた事業実施の推進。 ・ふるさと納税額の増加に向けた返礼品の確保 			
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)	<p><方向性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な行政運営を目指し、安定した財源の確保と人材育成を図っていく。 			
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税による寄附金の増収に向け、返礼品の確保及び新しい返礼品の開発等を積極的に進めていく。 			
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)	<ul style="list-style-type: none"> ・住民ニーズが複雑・多様化する中で、分野横断的な対応やワンストップでの迅速な対応の体制づくりを強化すると同時に、従来の慣習や発想に囚われず、住民サービスの向上を常に意識した柔軟な行政運営を推進する。 			

施策1	信頼される行政運営の推進						達成度評価	担当係等
①	町民の知る権利を保障するとともに、公正で開かれた透明性の高い町政を推進するため、町の情報を積極的に公開します。						A	総務係
②	事務事業の改善に関する職員提案制度を奨励し、事務の効率化を図ります。						C	企画係
③	価値観の多様化、行政課題の複雑化等の課題解決に向け、周辺市町村と積極的に連携を進めます。						C	企画係
④	子どもたちがまちづくりに対して意見を言える場を整え、若い世代の意見を町の施策に積極的に反映させます。						D	地域振興係
⑤	対面に加えオンラインでの職員研修を積極的に行うなど、職員の資質向上を図ります。						B	総務係
⑥	行政職員が積極的に地域に出向き、町の取組を説明するなど、町民との情報交換・情報共有の場づくりに努めます。						C	企画係
K P I ①	町の職員数（病院関係除く）（人）						総務係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	136	—	—	—	—	130	95%	
実績	137							
K P I ②	職員提案制度による業務改善数（件）						企画係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	3	33%	
実績	1							
K P I ③	出前講座の実施回数（回）						企画係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	29	—	—	—	—	100	55%	
実績	55							
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・情報公開条例に基づく情報公開の運用（R4年度情報公開請求件数53件）。 ・職員提案制度に基づく職員提案の推奨（R4年度実績：1件）。 ・長野地域連携中枢都市圏形成に係る連携協約に基づく圏域で取り組む58事業のうち55事業に参画。 ・職員研修を積極的に実施し資質向上を促進（個別研修：36名・専門研修：9名・独自研修：189名）。 ・出前講座の実施（R4年度実績：55回）。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の知る権利として情報の公開を求める権利を保障・尊重した制度運用に努めていくとともに、情報については引き続き積極的に公開していく。 ・職員提案制度を柔軟に運用し、積極的且つ気軽に提案できる環境を整えていく必要がある。 ・連携中枢都市圏をはじめ、周辺市町による事業連携等に一定の進捗がある一方で、現状は実効性のある連携が少ないため、関係する市町村で課題を共有し、共同で事業に取り組む体制を強化していく必要がある。 ・過去には「中学生議会」等の取組があったが、現在は子どもたちの声を届ける場等は制度的に整備されていない。中学生議会、子ども議会等の機会を意識的に設置していくなどの工夫が必要であるが、学校カリキュラムとの兼ね合い等もあるため、制度として位置づけていくには、そのための体制づくりが課題である。 ・多様化する住民ニーズに対応していくため、今後も組織及び職員個々の資質の向上は必須なことから、民間感覚や時代に順応したスキルを身に付けていくための研修機会を増やしていく。 ・出前講座だけでなく、町民と行政職員が情報交換、意見交換等をする機会を意識的に設定するなど、町民と行政が気軽に話し合い交流できる場づくりを促進していく。 							

施策2	持続可能な財政運営の推進						達成度評価	担当係等
①	町税や使用料など、賦課・利用者負担の適正化と収納率の維持・向上に努めます。						A	収納係
②	コンビニエンスストアなどの身近な場所での納付や、インターネット、クレジットカード等の簡易な方法による納付に関する調査研究等を進め、納税者が納付しやすい環境を整えます。						C	収納係/DX推進室
③	ペーパーレス化や押印の廃止、手続のオンライン化など事務処理のデジタル化や簡素化を進め、行政の事務処理の効率化と経費の削減に努めます。						B	総務係/DX推進室
④	ふるさと納税の促進やホームページ等への広告掲載など、財源確保のための創意工夫を行います。						B	ふるさと納税推進室/企画係
⑤	「最少の経費で最大の効果」が得られるよう、質、量とも最適な行政サービスの運営を実施するため、行政が自主的かつ積極的に各種事業の評価、見直しを行い、その結果を公表します。						C	企画係
⑥	施設の重要度や劣化状況に応じて長期的な視点で優先順位をつけ、町民の安全・安心に直結する施設については着実に更新・修繕を行う一方、十分な利用が見込まれない公共施設については統廃合を進めるなど、計画的に施設を整備します。						D	財政係
KPI①	経常収支比率 (%)						財政係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	84.6	—	—	—	—	80%以下	89%	
実績		89.7						
KPI②	町税の収納率 (固定資産税・住民税・法人税・軽自動車税) (%)						収納係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	99.1	—	—	—	—	99.0	100%	
実績		99.1						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ R4年度の町税収納率は99.1%で、前年比0.08%の向上。 ・ 地方税共通納税システムの導入に係る準備作業等の実施。 ・ 電子決裁システムの導入、書かない窓口の設置 ・ ふるさと納税の実績 (R4年: 寄付件数/64,722、寄付額/670,419,200円) が過去最高を記録。 ・ 有料広告実績 (R4年度: hp8件、封筒4件、公共交通マップ1件) ・ 行政評価の実施と公表。 ・ 公共施設の中長期的な視点で更新・統廃合等を計画に行うための、個別施設計画の策定準備を実施。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方税共通納税システムの稼働を予定。納付手続を電子的に行える場を増やすとともに、納付しやすい環境づくりを進めていく。また、役場庁舎等での使用料・手数料等の支払をキャッシュレス納付できるように検討を進める。 ・ ペーパーレス化や押印の廃止に伴う電子決裁によるオンライン化及び事務処理の簡素化を、引き続き積極的に進めていく。 ・ ふるさと納税ポータルサイト「楽天」では、ふるさと納税で全国一りんごを売り上げた自治体となるなど、取組の大きな成果が見られる。今後は寄附金の増収に向け更なる返礼品確保が課題となるため、新しい返礼品 (地場産品) の開発等も視野に入れ、対策を行う必要がある。引き続き、町政運営のための財源を確保すると共に、地場産業の活性化や飯綱町の魅力発信につながるよう、ふるさと納税制度を活用していく。 ・ 有料広告については、R2以降その掲載数は減少傾向にあることから、広告掲載者にとってメリットのある仕組み等を検討していく必要がある。 ・ 行政評価については、評価方法や対象等、制度の在り方について見直しを図り、実効性のある評価制度となるように改善していく。 ・ 公共施設の統廃合等も含め、実効性のある個別施設計画を策定するとともに、今後は当該計画に基づき、計画的な施設整備・更新に努めていく。 							

施策3	質の高い行政サービスの推進						達成度評価	担当係等
①	電子申請やマイナンバーカードを活用して、利便性の高い行政サービスの提供を図ります。						A	住民係/DX推進室
②	多様化する住民ニーズに迅速に対応する体制づくりを進め、住民サービスの向上に努めます。						C	総務係
③	SDGsに対する理解を深め、目標達成に貢献できる行政サービスを推進します。						C	企画係
KPI	マイナンバーカード交付率（累計）（％）						住民係/DX推進室	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	17.5	—	—	—	—	100	61%	
実績		61.3						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・住民アプリ「いなび いいづな」を活用した、住民票等の各種証明書のオンライン請求サービスの提供開始。 ・課や係の枠に囚われない分野横断的対応の体制づくりの推進（分野横断的なプロジェクト事業等による対応、職員の意識改革等に向けた啓発等）。 ・SDGsに対する理解の醸成、SDGsを意識した施策や事業立案等に対する啓発の促進（SDGsに関する職員研修等の実施など）。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> ・住民アプリ「いなび いいづな」の運用開始により、窓口に来庁せずに証明書等を受け取ることができ、住民の利便性の向上が図られた。今後は更に受け取れる証明書等の拡充を検討していく。 ・住民ニーズが複雑・多様化する中で、分野横断的な対応や、ワンストップで迅速に対応していくための体制を強化していく必要がある。そのためには、組織的にも職員個々の意識としても、従来の慣習や発想等に囚われず、柔軟性のある対応を進めるとともに、住民サービスの向上を常に意識した対応に努めていく必要がある。 ・SDGsに対する理解を深めるための研修機会等を増やすなど、職員一人ひとりがSDGsの目標達成を踏まえた施策立案や事業実施を積極的に進めていく環境づくり、意識の醸成・向上を更に図っていく必要がある。 							


第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野4	安全・基盤		
基本方針	人口減少や自然災害、生活環境の多様なリスクに対応した安全な暮らしの実現		
政策4	デジタル化の推進		
関連するSDGs			
主な担当課・担当係	企画課DX推進室		
課題と方針	<p>人口減少時代に対応する持続可能な地域を形成するために、デジタル技術を活用してより効率的で生産性を高める取組が必要であることから、デジタル化のノウハウを有する民間の活力を活用し、地域全体で産官民が連携してデジタル化の取組を積極的に推進します。</p> <p><重点課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化による住民サービスの質的向上 ・全庁的なDX※の導入・推進 		
行動目標	デジタル技術を積極的に活用しよう！		
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)
	専用基地局、中継局の設置（累計）<施策1>	0か所	10か所
	デジタルデバイス機器導入数（累計）<施策1>	0基	100基
	電子申請手続き導入数<施策2>	9手続	27手続
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
A	<成果>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術を活用するためのLPWAネットワーク網の整備 ・行政手続のオンライン化や「書かない窓口」等の導入による、住民の利便性の向上及び人件費等の削減。 		
A 順調 (目標以上に進捗)	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・DX推進計画の実効性の向上。 ・電子申請手続の拡充、役場窓口でのキャッシュレス体制整備。 <p>・非居住地域を中心に整備した「LPWAネットワーク網」について、居住地域を含めた町内全域でセンサー技術活用を図るため、引き続きLPWAネットワーク網の整備を進めていく。また、LPWA技術の活用により取得したデータを分析することで、より迅速に住民等へ災害情報の伝達等ができるなど、様々なシーンに合わせて活用を進めていく。</p> <p>・町民が更に利便性の向上を感じられるよう、電子申請ができる手続きを増やしていく。また、役場窓口で税金や手数料等をキャッシュレス納付できる体制・環境の整備に向けた検討を進める。</p>		
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)			
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)			
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)			

施策1	地域のデジタル化により活力あるまちづくりの推進						達成度評価	担当係等
①	町全体のデジタル化を推進する飯綱町DX推進計画を策定します。						A	D X 推進室
②	町内で広くデジタル技術を活用するための専用基地局や中継局などのネットワーク整備を進めます。						A	D X 推進室
③	生産性、効率性、防災力等を高めるためのLPWAを活用したデジタルデバイスの導入を推進します。						B	D X 推進室
K P I ①	専用基地局、中継局の設置（累計）（か所）						D X 推進室	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	10	270%	
実績		27						
K P I ②	デジタルデバイス機器導入数（累計）（基）						D X 推進室	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	100	36%	
実績		36						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ R4年10月に飯綱町DX推進計画を策定。 ・ デジタル技術を活用するためのLPWAネットワーク網を町内に整備（基地局10か所、中継機17カ所）。 ・ スマホやPC等で現地の状況が把握できるよう、町内の広い範囲に各種センサーを36カ所設置。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各課横断的に町の課題解決につながる具体的なDX推進計画を策定することができた。今後は、より実効性を高めるため、PDCAによる取組状況の把握と事業推進を図っていく。 ・ 非居住地域を中心にLPWAネットワーク網の整備を行った。今後は、居住地域でもセンサー技術の活用を図るため、LPWAネットワーク網を全域で利用できるよう整備を進めていく。 ・ 低コストで広い範囲をカバーできるLPWA技術を活用し、現地に出向かなくても遠隔地の状況を把握することができるようになった。今後は、取得したデータを分析し、閾値（しきいち）を設定することで、より迅速に住民等へ災害情報の伝達等ができるなど、様々なシーンに合わせて活用を進めていく。 							

施策2	行政のデジタル化による住民サービスの向上						達成度評価	担当係等
①	デジタル技術やデータ等を活用し、オンライン申請など町民の利便性の向上を図ります。						A	D X 推進室
②	デジタル技術やAI（人工知能）等の活用により業務の効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上につなげます。						B	D X 推進室
③	税金や手数料等の支払についてキャッシュレス化を推進します。						B	D X 推進室
K P I ①	電子申請手続き導入数（手続）						D X 推進室	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	9	—	—	—	—	27	274%	
実績		74						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホ等で申請できる行政手続オンライン化27手続きの導入及び電子申請ツール「LoGoフォーム」の試験導入（47手続）。 ・証明書等発行窓口が発券機と「書かない窓口」を導入。 ・地方税のキャッシュレス納付を進めるために、国が導入予定の「地方税統一QRコード」の導入検討の実施。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が更に利便性が感じられるよう、PRを積極的に行うとともに、電子申請ができる手続きを更に増やしていくよう庁内に働きかけを行っていく。 ・証明書等発行業務のデジタル化を推進したことで、正規職員でなくとも証明書等をスムーズに発行できるようになり、全体的な人件費の削減につながっている。今後は、「書かない窓口」で対応できる事務の拡充を更に検討していく。また、AI・OCR、RPAを活用して効率化できる業務があるかどうか、効果検証を行う。 ・役場窓口で税金や手数料等をキャッシュレス納付できる体制・環境の整備に向けた検討を進める。 							

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】


分野5	安心・健康・福祉			
基本方針	共に支え合い誰もが安心して暮らすことのできるまちづくり			
政策1	切れ目ない子育て・子育て支援			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	教育委員会子育て支援係・こども保育係			
課題と方針	<p>ハード・ソフトの両面から、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援により、安心して子育てができる環境をつくります。</p> <p><重点課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・核家族化や働き方の変化、ひとり親家庭などへの対応 ・飯綱町子育て世代支援施設の有効活用 			
行動目標	子どもたちの成長をみんなで支え、喜びを分かちあおう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	ファミリー・サポート・センターの会員数<施策1>	39人	50人	
	なかよし広場利用者数<施策1>	70人	90人	
	放課後児童クラブ利用者ニーズ調査（開館状況満足度）<施策1>	95.3%	96.0%	
	病後児保育施設利用者数<施策2>	1人	5人	
	女性就業率<施策3>	58.3% (H27)	65.0%	
	支援を受けた者で就労（起業）できた者の数（累計）<施策3>	10人	100人	
	飯綱町ワークセンター新規登録者数（累計）<施策3>	50人	100人	
	住民評価	子どもがいきいきと育つ環境づくり満足度<施策1>	33.2%	↑
		楽しく子どもを育てられる環境づくり満足度<施策2>	26.3%	↑
		女性の希望が叶う子育て環境づくり満足度<施策3>	22.0%	↑
		地域の子どもの成長に関心を持っている（子ども見守り、学校へのボランティア等）	54.6%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
A 順調 (目標以上に進捗) B 概ね順調 (目標の7~8割の進捗) C やや遅れている (目標の5~7割の進捗) D 遅れている (目標の5割以下の進捗)	C	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援施設「みつどんのお家」を拠点に、多様な教室、講座、相談等を展開し、一貫した支援体制と気軽に利用できる環境づくりが進捗。 ・子育て応援祝金事業は好評で、出産から義務教育までの子育て世代の経済的負担の軽減に寄与。 ・就労形態の多様化に伴う保育ニーズに対応した、サービスの充実と環境づくりの促進。 		
		<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの豊かな育ちの妨げとなる虐待や貧困等の対策及び支援の強化。 ・現状の多様な保育サービスを継続・拡充していくための保育士等人材の確保。 ・働き方改革やワークライフバランス等を実現していくための事業所との連携や支援。 ・子育て支援施設「みつどんのお家」を拠点とする、サービスや事業等の拡充など。 <p><方向性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待や貧困等の対策については、分野横断的な体制を構築し支援の強化を図っていく。 ・「みつどんのお家」を拠点に、一貫した子育て支援体制と気軽に利用できる環境づくりを引き続き進めていく。 ・現状十分に取り組めていない子育て支援施策も多数あることから、子育て世代のニーズを把握し、必要なサービス提供や教室等の開設など、幅広く支援に伝えていく環境・体制を整えていく。 		

施策1	子どもがいきいきと育つ環境づくりの推進						達成度評価	担当係等
①	妊娠前から出産までの不安解消を図るため、妊娠や出産、産後の育児に関する教室を開催するとともに、その情報を広く周知し、多くの子育て世帯が利用できる体制づくりを推進します。						B	子育て支援係
②	レスパイト（息抜き）支援や出産に対する助成などを拡充し、出産における心理的・経済的負担の軽減を図ります。						C	子育て支援係
③	子育て世代支援施設の運営や事業については運営委員会で検討し、利用者のニーズに寄り添った運営を図ります。						B	子育て支援係
④	様々な事情により一時的に子どもを預けたい保護者を地域で支え合う仕組み（ファミリー・サポート・センター事業）の拡充を図ります。						D	子育て支援係
⑤	子どもが安全・快適に過ごせるよう施設の改修や増築、維持管理、ICT機器の導入など環境整備を計画的に行います。						B	子育て支援係
⑥	放課後児童クラブでは、保護者との意見交換の場を設けるなど、保護者や児童のニーズに応える管理・運営に努めます。また、利用状況に応じた施設の確保や環境整備を計画的に行います。						B	こども保育係
⑦	次代を担う子どもの健やかな成長を願って、子どもの誕生や卒園・卒業等の機会に祝い金や記念品を支給します。						B	子育て支援係
⑧	児童虐待の未然防止と早期発見・早期対応に取り組むため、地域や関係機関との連携を強化します。						B	子育て支援係
⑨	貧困により子どもがいきいきと育つ環境を奪われることのないよう、関係部署と連携して対応します。						D	子育て支援係
⑩	未来の町を担う子どもたちに、自らの可能性に気付く学びの場や、仕事のやりがい学ぶことのできるプログラムを提供し、人材育成を図ります。（※2-3-1-⑤再						B	地域振興係
⑪	ひとり親家庭に対する相談等の支援を強化します。						C	子育て支援係
K P I ①	ファミリー・サポート・センターの会員数（人）						子育て支援係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	39	—	—	—	—	50	74%	
実績		37						
K P I ②	なかよし広場利用者数（人）						子育て支援係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	70	—	—	—	—	90	78%	
実績		70						
K P I ③	放課後児童クラブ利用者ニーズ調査（開館状況満足度）（%）						こども保育係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	95.3	—	—	—	—	96.0	101%	
実績		96.9						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援施設「みつどんのお家」を拠点に、「わくわく子育て講座」、「おっぱい教室」、健康・栄養相談等、多様な教室、講座、相談等を実施。 ・子育て応援祝金（誕生祝金、卒業・卒園祝金等）の支給。 ・保育園への非常通報装置の設置、タブレット端末の導入など、安心・快適な環境整備を推進。 ・児童クラブ利用者アンケートにより定期的にニーズを把握。 ・ひとり親世帯や低所得世帯への各種助成、相談支援などの実施。 ・ケース会議による児童虐待等の未然防止と早期対応。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> ・各種教室や相談等を、子育て支援センター（みつどんのお家）を拠点に実施することで、一貫した支援体制と気軽に利用できる環境づくりを進めていく。 ・子育て応援祝金事業は大変好評で、出産から義務教育までの子育て世代の経済的負担の軽減にも寄与している。子育て世代のニーズを捉え、事業の改善や拡充などを含め、制度の見直しを柔軟に検討していく。 ・子どもたちの豊かな育ちの妨げとなる、虐待や貧困等の対策については、分野横断的な体制を構築し、支援の強化を図っていく必要がある。 							

施策2	楽しく子どもを育てられる環境づくりの推進						達成度評価	担当係等
①	妊娠期における講座等の充実を図るとともに、子育て期の親子交流イベントの開催など、子育てしやすい体制を整備します。						B	子育て支援係
②	大学連携事業等の推進を図り、各種の講座等を開催し、学びながら楽しく子育てができる場の構築を図ります。						B	子育て支援係
③	病後児保育※や未満児保育及び一時保育等の充実を図るとともに、病児保育について研究するなど、子育てと仕事が安心してできる体制・施設整備を図ります。						C	子育て支援係
K P I ①	病後児保育施設利用者数（人）						子育て支援係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	1	—	—	—	—	5	40%	
実績		2						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・親子交流イベントとして、子育て支援センターの特別開放、「ファミリーコンサート」、「あきまつり」等のイベントを実施 ・長野県立大学との連携による「わくわく子育て講座」の開催。 ・保護者の就労形態の多様化に伴う保育ニーズに対応するため、未満児保育、時間外保育、一時保育、土曜保育、病後児保育等、様々な保育サービスを実施しており、安心して子育てと仕事ができる環境・体制づくりを進めている。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期の講座等については、現状十分に取り組めていないため、妊娠期におけるニーズを把握し、必要な講座等の開設とそのための環境・体制を整えていく。 ・親子で参加できる交流イベントは好評なことから、楽しく子育てに取り組む環境づくりとして、子育て交流イベント等をさらに拡充していく。 ・長野県立大学と包括連携協定を締結し、講座や取組の拡充を図っていくとともに、他の大学・教育機関等との連携による、子育ての多様な学びの場の確保についても検討・推進していく。 ・サービス利用者の増加と保育ニーズの多様化は今後も増加が見込まれる中、現状の多様な保育サービスを継続・拡充していくには、保育士の確保が大きな課題となっている。また、病後児保育室の移転について検討を予定しているが、病児保育については、その要否も含め継続して検討していく。 							

施策3	女性の希望が叶う子育て環境づくりの推進						達成度評価	担当係等
①	父親の育児への参加を支援する研修や講座等を開催するなど、父親も子育ての楽しさが実感できる事業に取り組みます。						C	子育て支援係
②	多様な生き方を選択できる町を実現するため、事業所への啓発活動等により子育て世帯を中心に働き方の見直しを促進し、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現を図ります。						D	子育て支援係
③	就職に有利な資格や知識・能力を身に付けられる研修会の開催など、女性の職場復帰や再就職支援の充実を図ります。						B	子育て支援係
K P I ①	女性就業率（％）						子育て支援係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	58.3	—	—	—	—	65.0	89%	
実績		57.9						
K P I ②	支援を受けた者で就労（起業）できた者の数（累計）（人）						子育て支援係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	10	—	—	—	—	100	11%	
実績		11						
K P I ③	飯綱町ワークセンター新規登録者数（累計）（人）						子育て支援係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	50	—	—	—	—	100	98%	
実績		98						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・父親を含めた家族で子育てを楽しむイベント交流（イクメンパパ事業）として「ファミリーコンサート」や「あきまつり」等を実施・開催 ・ワークセンター（iワーク）において、スキルアップセミナー、プチ起業講座、企業とのマッチングイベント等を実施。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で楽しめるイベント等の実施は、父親の育児参加や子育てを楽しむ機会の提供に寄与しているものの、父親を対象とした子育てに関する研修・講座等は十分実施できていないため、父親が参加しやすい教室等を企画するとともに、既存の子育て講座等への父親参加を促していく。 ・町内事業所等に対し、ワークライフバランスに関する情報・取組事例等について積極的に啓発を行っていくとともに、事業所と連携する中で、働き方改革やワークライフバランスの実証実験や支援施策の構築についても検討していくことが必要。 ・iワークを拠点に、スキルアップにつながるセミナー等を継続して開催していくとともに、需要に応じて多様な研修会等も実施していく。また、子育て期のママを対象とした就労支援を強化していく必要がある。 							

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】


分野5	安心・健康・福祉			
基本方針	共に支え合い誰もが安心して暮らすことのできるまちづくり			
政策2	誰もが安心していきいきと暮らすことができる社会の実現			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	保健福祉課介護支援係・福祉係			
課題と方針	<p>町民一人ひとりが自ら考え行動し、地域ぐるみで支え合う自助・互助・共助・公助※の確立を図る取組を推進します。</p> <p><重点課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化に伴う福祉サービスの給付と負担のバランス確保 ・ 孤独死の防止やひとりで悩みや不安を抱え込ませない重層的な支援体制の構築 ・ 公的な福祉サービスの充実に加えた地域で支え合う体制づくり 			
行動目標	声をかけ、優しい地域の輪を広げよう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	IIZUNAであるきバスカード登録率<施策1>	16.1%	25.0%	
	65歳以上就業率<施策1>	47.2%	50.0%	
	いきいきサロン参加者数<施策3>	2,500人	7,000人	
	地区福祉学習会開催地区数・開催地区割合<施策3>	10地区・20%	50地区・100%	
	ふれあい広場参加者数<施策3>	0人	2,000人	
	地域福祉フォーラム参加者数<施策3>	100人	200人	
	住民 評価	高齢者が安心していきいきと暮らすことのできる取組満足度<施策1>	26.8%	↑
		障がい者が自分らしく生活を送ることのできる取組満足度<施策2>	20.8%	↑
		地域で支え合う福祉の体制づくり満足度<施策3>	20.8%	↑
		周辺住民とは日頃から積極的にコミュニケーションをとっている	62.4%	↑
	評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
C	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種の相談、教室、講座等の開催の充実化、地域で支え合う体制づくりに向けた機運の醸成。 ・ 地域活動支援センターによる自立支援等の実施、重層的支援体制整備の進捗など。 			
A 順調 (目標以上に進捗)	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護専門職の人材不足及び公的支援サービスでは対応できない制度の狭間の発生など。 ・ スキルバンク等の設置、開設。 ・ 福祉サービスの利用希望に対応するための、サービス提供事業者の確保。 ・ 地域福祉活動を支える組織と人材の確保、育成。重層的支援体制整備の実効性の向上など。 			
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)	<p><方向性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な福祉サービス利用者が増加する中で、サービス提供に対応しきれない面もあることから、自助・互助・共助・公助の各側面の取組強化と適切な役割分担・連携を進めていく。 ・ 重層的支援体制整備事業と併せて多職種連携を図り、高齢者等や支援を必要とする方とその家族が望む生活が送れるように支援体制の強化を図っていく。 ・ 地域による支え合い活動の大切さ等について、様々な機会を捉えて啓発していくとともに、地域福祉活動を支える組織と人材の確保育成に向けた具体的な支援策等を講じていく。 			
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)				
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)				

施策1	高齢者が安心していきいきと暮らすことができる社会の実現						達成度評価	担当係等
①	全ての高齢者が安心して自立的に暮らすことができる環境を整備するため、地域包括支援センターを拠点として、介護や医療等の関係機関との連携強化を図り、高齢者の生活全般に関するあらゆる相談に対応できる体制（地域包括ケアシステム）を構築します。						C	介護支援係・包括支援センター
②	健康運動や栄養改善、口腔機能向上等の教室開催などフレイル予防をはじめとする介護予防の取組を推進します。						C	介護支援係・包括支援センター
③	認知症の方やその家族が安心して暮らせるよう、認知症の方を地域全体で支え見守る体制（ささえ愛ネットワーク）を拡充するなど、認知症の方へのきめ細かな対応を図ります。						C	介護支援係・包括支援センター
④	独居高齢者のあんしんサポートを行う相談窓口や体制づくりを検討します。						C	介護支援係・包括支援センター
⑤	高齢化社会を迎え、買い物困難者問題が深刻化しています。地域の支え合いによる「きめ細かな」地域交通や移動販売車の運行等について研究し、買い物困難を感じない地域への転換を図ります。						C	介護支援係/企画係
⑥	高齢者に対するバスの乗り方教室を開催するなど、IIZUNAであるきバスカードの利用促進に努めます。						C	介護支援係・包括支援センター
⑦	高齢者の経験とスキルを活かした社会活動とマッチングする仕組みを構築します。						C	福祉係
⑧	独居高齢者向け緊急通報装置などの見守り体制を強化します。						C	介護支援係・包括支援センター
K P I ①	IIZUNAであるきバスカード登録率<施策1>						介護支援係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	16.1	—	—	—	—	25.0	77%	
実績		19.3						
K P I ②	65歳以上就業率<施策1>						福祉係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	47.2	—	—	—	—	50.0	89%	
実績		44.7						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターを拠点とする「地域包括ケアシステム」による、生活全般に関する相談の実施。 ・お元気クラブ、すてきなおやじクラブ、いきいきサロン等の実施。 ・介護予防計画「介護予防3か年事業プラン」の作成。「ささえ愛ネットワーク」による見守り体制の整備。 ・「つながり隊」による、あいさつや声かけ、見守り活動、相談窓口へつなげる活動等の実施。 ・高齢者を対象とした食事会、学習会、体力測定活動等の開催など。 ・IIZUNAであるきバスカードの利用促進（R4年度実績：登録者648人、登録率約20%、利用実績5,542件）。 ・iバスバスヘルパーによる移動支援（R4年度実績：支援人数1,014人）。 ・緊急通報装置の設置、災害時要援護者台帳の整備等。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> ・総合相談では複雑化・複合化した相談内容が増えており、今後も重層的支援体制整備事業と併せて多職種連携を図り高齢者とその家族が望む生活が送れるように支援強化を図っていく。相談窓口としての地域包括支援センター（「地域包括ケアシステム」）の積極的な活用に向けた周知を図るとともに、地域包括ケアマネジメントの構築に向け、医療と介護の切れ目のない連携が図れるようICTを活用した多職種連携と情報共有を推進していく。 ・引き続き「通いの場」を中心とした、介護予防やフレイル対策（運動・口腔・栄養等）の取組を強化するとともに、健康推進部門と連携し、生活習慣病予防や重症化予防の取組を包括的に展開する体制を整備していく。 ・経験やスキルを持つ高齢者の活躍を促し、社会活動等への参画機会を増やしていくには、シルバー人材センターだけでなく、スキルバンク等の設置によるマッチングシステムの構築が必要なため、スキルバンクの開設等について研究・検討していく。 ・自力での避難行動が難しい方々を対象とした「個別避難計画」の策定を進めるとともに、緊急通報装置の設置やICTを活用した見守りシステムの度入など、設備面からの見守り体制も引き続き強化していく。 ・移動販売車やデマンドバス等に加え、地域の支え合い等による新たな交通移動手段の仕組み等についても検討していく必要がある。 							

施策2	障がい者が自分らしく生活を送ることができる社会の実現	達成度評価	担当係等
①	障がい者への理解を深めるため、学習会や交流会等の充実を図り、心のバリアフリーを促進します。	C	福祉係
②	地域で自立した生活を送ることができるよう、誰でも気軽に相談できる仕組みを充実させ、全ての人に必要な支援（就労、日常生活用具の給付、外出時の移動などの支援）が行き渡る体制づくりに努めます。	B	福祉係
③	発達障がいがある子やその家族の相談に応じる発達支援室を設置し、保健・福祉・教育が連携しながら、早い時期から継続的で専門的な支援を行います。	C	総務教育係/こども保育係/子育て支援係/福祉係/健康推進係
K P I ①	対応するKPIは住民評価指標のため、次期総合計画策定時に検証・評価		
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいへの理解を深める学習会（あいサポート研修、地域福祉フォーラム、福祉啓発研修）等の開催。 ・相談支援事業所への相談事業の委託により、相談体制の整備と強化を促進（相談延件数：261件） ・障がい児を対象とした療育から就労支援までを含めた相談と支援の実施。 ・日常生活用具給付 ・地域活動支援センター（登録者数35名・延利用者人数：1,056人）による、自立支援等の実施 ・子育て支援センター保育士による乳幼児期からの子育て相談、5歳児相談事業、支援会議等の実施など。 		
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
C	<ul style="list-style-type: none"> ・従来から継続的に実施している障がいへの理解を深める学習会・研修等を引き続き実施していくとともに、新たな学習の場や交流機会等について企画・検討していく。 ・地域活動支援センターは、若者の利用者が少ない状況にあるが、支援が手薄となっている15～20代に対する相談や各種支援の実施が重要なことから、支援の必要な若者が積極的にセンターを利用できるよう、環境整備や体制の充実を図っていく必要がある。また、地域の事業（移動支援、福祉有償運送サービス、タイムケア等）や児童福祉サービスの利用希望者が増加しており、提供可能な量を超えている実態もあることから、サービス利用者全体の量の見直しやサービス提供事業者の確保が課題となっている。 ・児童の福祉サービス利用が増加し、町内事業者だけではサービス提供が追い付かない状況にある。適切に療育を提供していくためには、町外事業者の活用が必要である。 ・重層的、横断的な支援機能としての「発達支援室」の設置・開設に向けては、現状の状況把握、課題整理、必要性の可否等を含め、どの部署が中心となり具体的にどう進めていくか等の方向付けや方針等を再検討していくことが必要。 		

施策3	地域で支え合う福祉の体制づくりの推進						達成度評価	担当係等
①	地域での福祉活動を推進する組織の充実や人材の育成などを支援し、地域の支え合い活動を促進します。						C	福祉係
②	高齢者や障がい者等の権利擁護を図るため、児童福祉制度や障がい者福祉制度、成年後見制度などの各種福祉制度の周知を行います。						B	福祉係
③	重層的支援体制整備事業の実施に向けて、介護、障がい、子ども、ひきこもりなどの相談支援等に取り組むことで、本人が安心して社会参加できるよう支援します。						B	福祉係
K P I ①	いきいきサロン参加者数（人）						福祉係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	2,500	—	—	—	—	7,000	33%	
実績	2,318							
K P I ②	地区福祉学習会開催地区数・開催地区割合（％）						福祉係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	10・20%	—	—	—	—	50・100%	18%	
実績	9・18%							
K P I ③	ふれあい広場参加者数（人）						福祉係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	2,000	18%	
実績	350							
K P I ④	地域福祉フォーラム参加者数（人）						福祉係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	100	—	—	—	—	200	48%	
実績	95							
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい広場、福祉フォーラム等の交流イベントや啓発活動の実施。 ・「いきいきサロン（R4新規立ち上げ2地区・計34地区）や「地区福祉学習会（9地区で実施）」等を通じて、福祉活動組織の充実と人材育成を推進。 ・相談内容に応じて各種制度について周知を実施（R4年度の成年後見制度相談実績：20件） ・重層的支援体制整備事業の本格実施に向け、庁内の連携体制づくりをはじめ、事業所、公的関係機関、病院等との連携体制づくりを進めた。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、地域での活動が縮小し地域のつながりも薄れつつあることから、改めて地域による支え合い活動の大切さ等について、様々な機会を捉えて啓発していく必要がある。また、人口減少が進む中で、地域福祉活動を支える組織・人材は益々重要な存在になっていることから、組織・人材の確保育成に向けた具体的な支援策を講じていくことが要である。 ・社会福祉協議会が法人後見として成年後見等を受任し、権利擁護の適切な支援を行う体制を整備しているが、今後も権利擁護についての支援ニーズは増えていくことが見込まれることから、長野市成年後見センターとの連携・相談体制の強化を進めていくとともに、権利擁護の内容に応じた支援制度の周知徹底と町の支援体制づくりを進めていく必要がある。 ・R5年度から重層的支援体制整備事業が本格的にスタートするが、その進め方や多岐にわたる相談者の課題に対する支援体制の構築など、重層的支援体制の確立に向け、引き続き関係機関との協働体制の強化を図っていく必要がある。 							


第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野5	安心・健康・福祉			
基本方針	共に支え合い誰もが安心して暮らすことのできるまちづくり			
政策3	安心して暮らせる健康づくりの推進			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	保健福祉課健康推進係／飯綱病院			
課題と方針	<p>全ての町民が健康長寿で豊かな人生を送ることができる活力ある町を目指し、関係機関と連携した健康づくり活動の推進と適切な支援を行います。</p> <p><重点課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス等感染症対策 ・医療や介護にかかる負担の抑制 ・妊娠期から子育て期にわたる健康相談や関係機関と連携したきめ細かな支援 ・生活習慣病の予防 ・地域医療を支える飯綱病院の必要な医療スタッフの確保 			
行動目標	食事、運動、睡眠…できることから楽しく、健康づくりに取り組もう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	飯綱町総合健診受診者数<施策1>	324人	370人	
	特定健診受診率<施策1>	31.2%	55.0%	
	ゲートキーパー養成講座の受講者数<施策1>	71人	320人	
	フレイルチェックの実施数<施策1>	0人	300人	
	健康寿命<施策1>	男：80.2歳/女：84.0歳	0.5歳以上の延伸	
	医師の充足率<施策2>	75.0%	80.0%	
	住民 評価	みんながいきいきできる健康づくり満足度<施策1>	36.9%	↑
		地域に愛される病院づくり満足度<施策2>	32.1%	↑
		食事、運動、睡眠など意識して健康づくりに取り組んでいる	73.7%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
A 順調 (目標以上に進捗)	B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な健康講座等の開催、相談支援、普及啓発等により、健康づくりへの意識高揚が促進。 ・特定健診未受診者への対策による検診受診率の向上。 ・パワーリハビリ等の利用者増による個々の状況に応じた健康維持と推進の取組が進捗。 ・飯綱病院の医療体制の充実。 		
		<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・心身に不安を抱える人への個々に応じた支援の強化。 ・生活習慣病予防やフレイル予防等の更なる取組の強化、母子保健相談事業等の更なる充実など。 ・飯綱病院の経営の安定化、医療スタッフの安定確保。 		
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)	D 遅れている (目標の5割以下の進捗)	<p><方向性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・潜在的な要支援者を含め心の健康に不安を抱える人が増加傾向にあることから、相談体制の強化はもちろんのこと、アウトリーチ支援についても検討・強化していく必要がある。また、ゲートキーパー養成講座等の普及啓発や重層的支援体制整備事業により予防対策の強化を図っていく。 ・個に応じた、きめ細やかな健康増進支援を強化することで、町民の健康と安心を支えていく体制づくりを進めていく。 ・飯綱病院の安定的な医療サービスを更に充実させていくため、医療スタッフの確保、受入体制の整備等を引き続き強化するとともに、施設の改修計画を策定し計画的に整備を進めていく。 		

施策1	健康の保持・増進の支援						達成度評価	担当係等
①	食習慣や運動習慣の改善に関する講座等を通じて、町民の健康づくりに対する意識の高揚を図ります。						C	健康推進係
②	がん・生活習慣病等の早期発見・早期治療のため、検診の必要性をわかりやすく説明するなど受診勧奨等を積極的に行い、受診率の向上に努めます。						B	健康推進係
③	特定健診、町民健診を受診された方に個別面談にて健診結果を伝え、生活習慣病の発症、重症化を予防します。						B	健康推進係
④	親と子が心身ともに健やかに過ごせるよう、子どもの健康等に関する母親の一人ひとりの悩みに親身に寄り添う相談体制を構築するなど、きめ細かな母子保健事業を進めます。						B	健康推進係
⑤	幼少期から健康的な生活習慣を身に付けるため、関係団体と連携し、食育を推進します。						B	健康推進係
⑥	健康器具を導入し、一人ひとりの健康状態に合わせて適切に利用するなど、高齢者などの健康増進に向けた地域・団体の主体的な取組を支援します。						A	健康推進係
⑦	心の病気の予防・早期治療を図るため、相談できる時間を十分に確保するなど、心の健康に不安を感じている人やその家族がいつでも気軽に相談できる体制の構築を目指します。						B	健康推進係
⑧	ゲートキーパーを養成するなど、自殺予防のための体制づくりを図ります。						B	健康推進係
⑨	ライフステージに合った健康増進活動とコミュニティづくりで、フレイル予防の推進を図ります。						B	健康推進係
K P I ①	飯綱町総合健診受診者数（人）						健康推進係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	324	—	—	—	—	370	92%	
実績		342						
K P I ②	特定健診受診率（％）						健康推進係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	31.2	—	—	—	—	55.0	84%	
実績		46.0						
K P I ③	ゲートキーパー養成講座の受講者数（人）						健康推進係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	71	—	—	—	—	320	53%	
実績		169						
K P I ④	フレイルチェックの実施数（人）						健康推進係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	300	0%	
実績		0						
K P I ⑤	健康寿命（歳）						健康推進係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	男：80.2歳 女：84.0歳	—	—	—	—	0.5歳以上延伸	男:240% 女:180%	
実績		男81.4/女84.9						
主な実施事業	食や運動習慣に関する様々な講座等を実施し意識の高揚を促進。検診未受診者への各種対策により受診率の向上を促進。検診後の丁寧なフィードバックと指導対応により生活習慣病予防の徹底を推進。各種母子相談により、悩みに寄り添った細やかな対応を実施。食のサポートの会による食育の推進、パワーリハビリの活用や活動量計の購入費補助の実施等により個々にあった健康増進の取組を支援。心の健康相談会の開催、「こころの体温計（メンタルセルフチェックシステム）」の運用。ゲートキーパー養成講座を開催し自殺予防の体制づくりを推進。食事やフレイル予防についての健康講話の実施など。							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診未受診者対策により、受診率は向上しているため、今後も未受診者対策を継続・拡充していく。 ・子ども一人ひとりの成長発達に応じた相談体制を進めてきた結果、関係各部署との連携・情報共有も細かく行われるようになり、母親に寄り添った丁寧な相談が図れるようになった。 ・パワーリハビリは大変好評で、利用者も年々増加していることから、利用者が効果的に健康の維持・増進を図れるように個々の状況に応じた丁寧な指導や運営を支援していく。 ・心の病や心の健康に不安を抱える人は増加傾向にあることから、相談体制の強化はもちろんのこと、アウトリーチ支援についても検討・強化していく必要がある。 ・ゲートキーパー養成講座等の普及啓発や、重層的支援体制整備事業により予防対策の強化を図っていく。 ・地域の集まりやコミュニティに参加することもフレイル予防の一つであることを伝え、積極的な社会参加を促していく取組を強化していく。 							

施策2	飯綱病院の医療体制の充実						達成度評価	担当係等
①	現在の診療科目16科を維持し、一次救急から二次救急による医療の提供及び救急告示病院として、24時間365日、町民の健康と命を守るため安心と信頼の医療を提供します。						A	飯綱病院
②	医療スタッフの充実を図るとともに、計画的な設備の更新を行うなど、病院事業の経営の安定化・健全化に努めます。						A	飯綱病院
③	市中病院では対応しにくい慢性期医療や療養病床での医療の実施、一方では急性期医療及び透析医療を実施し、安定的に継続して良質な医療を提供します。						A	飯綱病院
④	町の「保健・医療・福祉」の連携の拠点として、町民の疾病予防、健診、医療相談、認知症予防、子育て世代支援施設への協力等の活動を行います。						A	飯綱病院
⑤	災害等が発生した場合は、地域の災害医療拠点病院として被災者への医療を担います。						A	飯綱病院
K P I ①	医師の充足率 (%)						飯綱病院	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	75.0	—	—	—	—	80.0	115%	
実績		92.1						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・診療科目16科を維持し、地域病院として信頼される医療体制の確保（R4年度実績：外来患者延数75,210人／入院患者延数35,122人／救急車受入件数289件）。 ・常勤1名、非常勤3名の医師を採用したが、経営の安定化に向け引き続きスタッフの充実を図っていく。また、医療機器については計画的に整備を実施。 ・慢性期医療や療養病床での医療サービスの提供、急性期医療や透析医療の受け入れ態勢の拡充を図るとともに、安定的・継続的な良質な医療提供を確保（療養病床：4階30床・透析延人数5,560人）。 ・総合健診、特定健診、地域医療連携室相談、保育園・小中学校等における各種健診への医師派遣を実施。 ・災害発生時の様々なケースを想定した訓練等を定期的の実施し、被災者医療についての体制整備を促進。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
A	<ul style="list-style-type: none"> ・R5年度に策定予定の「公立病院経営強化プラン」に基づき、地域に信頼される医療提供体制の確保及び健全経営に向けた体制整備を引き続き進めていく。 ・病院施設については老朽化が進んでいるため、早急に改修計画等を策定し、計画的に整備を進めていく。 ・地域のニーズに沿った安定的・継続的な医療サービスを更に充実させていくため、医療スタッフの確保、受入体制の整備等を引き続き強化していく必要がある。 ・今後も町の「保健・医療・福祉」の連携拠点として、町担当部局との連携を強化し、町民の健康と命を守る中核としての活動を推進していく。 							
施策3	新型コロナウイルス等感染症の予防と対策						達成度評価	担当係等
①	緊急的な感染症対策には、迅速かつ総力を挙げて対応し、町民の生命及び健康を守るため感染予防に努めます。						B	飯綱病院／健康推進係
K P I	対応するK P Iなし							
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度の初回ワクチン接種に始まり、R4年度には4回目の接種、オミクロン対応2価ワクチン接種を実施し、感染症予防対策を図った。 ・発熱外来の設置対応の他、町のワクチン集団接種に医師・看護師を派遣。また、院内感染対策委員会等で情報共有を図りながら、新型コロナ病床2床を確保し患者の受け入れを実施（入院実人数30名、日数298日）。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<p>新型コロナウイルスの感染症法上の扱いが5類になり、これまで確保していた専用病床だけでなく、通常の病床においても感染対策を講じた上で患者を受け入れていく。また、ワクチン接種については、定期接種化を見据え個別接種の実施に対応していく。</p>							


第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野5	安心・健康・福祉			
基本方針	共に支え合い誰もが安心して暮らすことのできるまちづくり			
政策4	拠点をつなぐ交通ネットワークの充実			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	企画課企画係			
課題と方針	<p>多様な公共交通機関の有機的な連携を図り、町民の日常生活を支える、効率的で持続可能な交通体系を構築します。</p> <p><重点課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物など町内の移動のしやすさの向上 ・バス路線維持のための事業費増大への対応（利用者の確保） ・高齢化の進展に伴う交通弱者の増加への対応 			
行動目標	積極的に公共交通を利用し、生活の足をみんなで守ろう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	1日当たりのiバスの平均利用者数<施策1>	89人	210人	
	1日当たりの牟礼駅の平均乗降者数<施策2>	992人	1,450人	
	住民 評価	身近で親しまれる公共交通の仕組みづくり満足度<施策1>	26.0%	↑
		利用しやすい交通環境の構築の取組満足度<施策2>	34.6%	↑
		積極的に公共交通（鉄道やバス）を利用している	15.2%	↑
		牟礼駅前が整備され、利便性が向上している	44.1%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
A 順調 (目標以上に進捗) B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗) C やや遅れている (目標の5～7割の進捗) D 遅れている (目標の5割以下の進捗)	C	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の維持に向けた関係機関との連携による継続的な取組等による、利用促進の機運醸成と利用者数の維持。 ・iバスコネクトの定時定路線方式への変更による利用者増。 		
		<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利便性の向上、利用者数の増加に向けた具体的な方策。 ・iバスの運行体制の見直し及び運転手不足等への対応など。 ・運行便数が減少している地域間移動の対応、夜間や休日等の移動手段の確保など。 <p><方向性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R6年度からのiバス運行体制の見直しを予定。現状のセミデマンド方式から、フルデマンド化の方向を視野に検討するとともに、高齢交通弱者の増加に備え、より効率的で利便性の高い「地域の足」を確保するため、タクシー事業者の確保や自家用有償運送等の導入など、既存公共交通を補完する仕組み等も併せて研究していく必要がある。 ・鉄道の利便性とサービス向上、牟礼駅の一層の環境整備など、利用者増に向けた様々な施策を検討・実施していくことで、鉄道の維持・存続を図っていくことが必要。 ・地域間移動や夜間・休日移動などの利便性が低く、利用者も減少する悪循環にあることから、持続可能な交通体系づくりに向けて、あらゆる移動手段を有機的に組み合わせるなど、町独自の新しい交通の仕組み等を研究・検討していく。 		

施策1	身近で親しまれる公共交通の構築						達成度評価	担当係等
①	北しなの線の設備等の整備を支援するとともに、関係機関と連携し、イベント列車を運行するなど、鉄道の利便性の向上と利用の促進を図ります。						C	企画係
②	路線バスやデマンドバスと鉄道の連携を強化するなど、公共交通の効率的な運行体制の構築を図ります。						C	企画係
③	住民生活に欠かせない交通手段を確保するため、拠点施設と地域を結ぶバスなどの移動手段の整備と利便性の向上に努めます。						C	企画係
④	地域や交通事業者、関係機関などと連携し、地域公共交通網の維持・確保のための検討や取組を進めます。						B	企画係
⑤	公共交通機関の重要性・必要性の理解・周知を促します。						C	企画係
K P I	1日当たりのiバスの平均利用者数						企画係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	89	—	—	—	—	210	45%	
実績		95						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・車両更新他しなの鉄道施設整備に対するしなの鉄道への補助金交付支援。関連団体等と協働による牟礼駅前清掃、花壇整備等の実施。イベント列車「SR1で軽井沢へ行こう!」、オータムフェスタ（牟礼駅100周年記念）等の利用促進イベントの実施。牟礼（60むれ）と還暦（60歳）を結び付けた牟礼駅利用促進の取組開始。鉄道の利用促進と活性化に向けた北部高校生徒との意見交換会の実施など。 ・iバス（定時定路線・デマンドワゴン・iバスコネク）の運行。iバスコネクのデマンド方式から定時定路線方式への変更により、利便性の向上を図った。 ・飯綱町地域公共交通会議、飯綱町しなの鉄道活性化協議会、北しなの線運営協議会、牟礼駅マイレール応援団等による利用促進と維持確保に向けた検討及び活動の実施。 ・利用促進の機運を高めるため、関係機関や協議会等を中心とした各種活動や取組の実施により、公共交通機関の重要性や必要性を啓発。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> ・関連団体等との連携による継続的な取組（駅前・駅周辺環境整備、イベント列車、駅前イベントの実施等）は、鉄道利用のきっかけにもなっており、一定の成果が見られるが、更に利用促進効果が得られるよう、事業内容等も見直ししながら、様々な取組を進めていく必要がある。 ・北部高校生徒との意見交換で出された利用者目線からの提案等については、実施可能な内容について事業化を図っていくことが必要。 ・関係機関との連携による公共交通の維持に向けた継続的な検討と取組は、公共交通の利用促進のきっかけとなり、一定の成果につながっている。一方で、今後人口減少が進み、利用者は更に減少していくことが危惧されるが、公共交通を維持していくには、利用者を増やしていくことに尽きることから、そのための方策を引き続き多角的に検討し、新しい施策や事業化を図っていくなど多様な取組を進めていく必要がある。 ・iバスの運行開始から15年が経過し、バス利用者の減少が加速していることから、R6年度からのiバス運行体制の抜本的な見直しを予定。特に、定時定路線の夕方便とナイトワゴンの利用者が少ない点等を踏まえ、フルデマンド化の方向を視野に検討するとともに、公共交通を利用できない高齢交通弱者の増加に備え、より効率的で利便性の高い「地域の足」を確保するため、既存の公共交通を補完する仕組み等も併せて研究していく必要がある。 ・バスと鉄道の時刻表の改定期が異なるため、接続が悪く効率性・利便性が悪いケースが見受けられることから、事業者間の連携強化の方策を検討していく。 ・現状は関係団体等を中心に利用促進の活動等を進めているが、公共交通の重要性を町民に広く周知し理解を深めてもらう観点から、町民を対象とした定期的な啓発シンポジウム等の開催や、広報紙等を通じた情報発信、町民参加型の利用促進活動等の展開等について検討していく。 							

施策2	利用しやすい交通環境の構築						達成度評価	担当係等
①	牟礼駅のバリアフリー化を促進し、利用しやすい駅を目指します。						D	企画係
②	交通事業者等と連携し、日常生活用品の買い物など、交通弱者の不便を解消する仕組みづくりを推進します。						C	企画係
K P I	1日当たりの牟礼駅の平均乗降者数						企画係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	992	—	—	—	—	1,450	70%	
実績		1,011						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・免許証返納後の支援期間（5年間）を撤廃し支援機期間を拡充 ・iバスヘルパー事業の拡充（R3より週1日から週2日に拡大）など 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> ・しなの鉄道の厳しい経営事情もあり、バリアフリー化（車両とホームの段差解消・上りホームへの階段対策）の見通しは立たない状況にある。利用しやすい駅を目指すためにも、しなの鉄道に対して早期改善要望を強く要請していくとともに、町の支援策（財政支援等）も検討していく。 ・交通弱者の不便解消に向けては、移動販売車やスマートグラスを活用した買い物支援等の取組と並行し、公共交通利用による不便解消に向けて、フルデマンド化も視野に入れたバス運行体制の抜本的な見直しを予定。 							


第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野6	移住・交流		
基本方針	移住定住と多様な交流による地域活性化		
政策1	移住・定住の推進		
関連するSDGs			
主な担当課・担当係	企画課人口増推進室／建設水道課維持管理係		
課題と方針	<p>二地域居住やワーケーションなど多様な暮らし方・働き方を受け入れて、関係人口や交流人口を増やしながら、移住・定住につなげます。</p> <p><重点課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住に伴う経済的負担や様々なリスクを軽減できる仕組みづくり ・空き家等の有効活用も含め、移住希望者のニーズに応じた住居の供給・確保 ・良好な自然環境や歴史・文化、風土を支える基盤となる集落の維持・継承 ・新たなライフスタイルやワークスタイルを受け入れられる仕組みや体制づくり 		
行動目標	移住者や来訪者との交流を深め、地域と関わる場や機会をつくろう！		
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)
	社会増減数<施策1>	▲69人	±0人
	転入者数<施策1>	221人	310人
	空き家バンク登録物件成約数(累計)<施策1>	6件	50件
	町営住宅等整備数<施策2>	65戸	73戸
	ワーケーション等のイベント実施回数<施策3>	3回	3回以上
	住民評価	住み良いまちと感じる人の割合	66.6%
	移住を増やす取組満足度<施策1>	18.1%	30.0%
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
B	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住サポーター制度の創設による、移住者に寄り添ったサポートの推進。 ・各種補助をはじめ、総合的な移住支援施策の展開により、移住者増に一定の成果。 ・普光寺焚荒地区への町営住宅整備、空き家の掘起こしと流動化の促進、移住定住支援サイトを活用した移住者への住まいや仕事のマッチング(移住者受入企業登録10社)など。 		
A 順調 (目標以上に進捗)	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住ニーズに対する、住居の不足。活用可能な空家や空地等の更なる掘起こしと流動化。 ・二地域居住やワーケーション等の受入体制整備。 ・集落の維持と活性化に向けた関係人口創出の具体的な仕組みづくり、取組の促進など。 		
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)	<p><方向性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住の先輩である移住サポーターによる、リアルな移住体験・移住後の生活実態等を移住相談者に伝える場を今後も増やしていくことで、移住相談だけでなく移住後の伴奏支援を含めた総合的なサポート体制としての仕組みを構築していく。 		
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)	<ul style="list-style-type: none"> ・移住希望者のニーズに合った住宅が不足していることから、需要に合わせて引き続き計画的に整備を進めていくとともに、空家活用や民間活用を更に促進させていく。 		
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)	<ul style="list-style-type: none"> ・関係人口の創出、拡大を目指し、二地域居住先やワーケーション先として選択されるように、移動手段、宿泊場所、教育・保育機会の確保など、受入環境の整備を進めていくとともに、体験ツアーの拡充や集落との協働による取り組みなどを促進していく。 		

施策1	試住・移住・定住の支援						達成度評価	担当係等
①	移住専門員を配置するなど、総合的な移住サポート体制を構築します。						B	人口増推進室
②	移住希望者の経済的負担を軽減するため、ニーズに沿った支援制度を整備します。						B	人口増推進室
③	移住希望者の経済的負担を軽減するため、ニーズに沿った支援制度を整備します。						B	人口増推進室
④	移住体験ツアーの実施や移住体験用住宅の整備により、町の魅力を知ってもらうための試住を推進します。						B	人口増推進室
K P I ①	社会増減数（人）						人口増推進室	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	▲69	—	—	—	—	± 0	41%	
実績	▲41							
K P I ②	転入者数（人）						人口増推進室	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	221	—	—	—	—	310	79%	
実績	244							
K P I ③	空き家バンク登録物件成約数（累計）（件）						人口増推進室	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	6	—	—	—	—	50	26%	
実績	13							
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・移住サポーター制度を新設し、移住希望者の相談対応や移住者交流会への参加などのサポート体制を強化。 ・民間賃貸住宅等建設補助金（1件）、移住定住促進中古住宅等購入補助金（8件）、移住定住応援リフォーム補助金（12件）、飯綱町移住定住応援家賃助成金（29件）、ひとり親世帯家賃助成金（26件）、飯綱町空き家家財道具等処分支援補助事業（9件）等各種の助成制度による、移住者等の経済的負担軽減の実施。 ・移住定住支援サイトを活用した移住者への住まいや仕事のマッチングとして「移住者受入企業登録」を開始（登録10社） ・空き家の流動化等を業務とする地域おこし協力隊員を任用し、空き家の掘起しのため現地調査、所有者への通知等、空き家の流動化と利活用の取組を強化。 ・「子育て世代」をターゲット層に絞った移住体験ツアーの実施 ・移住体験用住宅のリノベーションを実施（R4利用実績：35日間・26名の利用）。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> ・移住の先輩である移住サポーターによる、リアルな移住体験・移住後の生活実態等を移住相談者に伝える機会や場を今後も増やしていくことで、移住相談だけでなく移住後の伴奏支援を含めた、総合的なサポート体制としての仕組みを構築していく。 ・中古住宅の購入・賃貸住宅等の費用に対する支援をはじめ、様々な支援の展開により、移住者増に一定の成果が得られている。今後は、U I J ターン就業・創業移住支援事業補助金の利活用を推進していく他、移住者への奨学金返還支援、住宅建設・購入等の借入資金等に対する支援の研究など、ニーズやを踏まえ、多様な支援制度を検討・整備していく。 ・空き家の掘起こしや流動化に向けては、区長・組長への依頼等を通じて引き続き積極的に周知・推進をしていくとともに、固定資産納税通知書に「空き家情報をお寄せください」チラシの同封（約8000通）を予定。 ・移住ニーズは依然として高いことから、移住希望者のニーズにあったツアー内容の検討と実施回数の拡大を図っていく。また、移住体験住宅利用者の感想や要望等を整理・分析し、移住効果として直結するような体験ツアーと試住の体制を整備するとともに、今後の移住相談や支援施策につなげていくことが必要である。 							

施策2	町営住宅等の整備						達成度評価	担当係等
①	賃貸住宅不足を解消するため、若者住宅（定住促進住宅）を計画的に整備し、移住者・定住者の増加を図ります。						A	維持管理係
②	不足する賃貸住宅の供給を促進するため、民間力を活用した賃貸住宅の建設を支援します。						A	人口増推進室 ／維持管理係
K P I	町営住宅等整備数（戸）						維持管理係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	65	—	—	—	—	73	92%	
実績		67						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ R4年度より3か年計画で普光寺焚荒地区に4棟（8世帯）の若者住宅を整備。 ・ 民間賃貸住宅等建設補助金により、民間の賃貸住宅建設を支援（R4実績：1件・150万円×6戸 900万円を補助） 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移住希望者のニーズに合った住宅が不足していることから、需要に合わせて引き続き計画的に整備を進めていく必要がある。また、住宅整備に関しては、行政主導だけでなく、民間との連携による賃貸住宅整備（民間への補助等）や空き家活用による住宅整備など、多様な形態での住居整備を推進していく。 ・ 民間賃貸住宅建設支援制度の開始から、2件14戸（R5への繰越含む）の活用があり、住宅供給不足に対して一定の成果が得られている。今後も同補助金の活用を促進するとともに、空き家活用等による住宅整備支援等の施策についても検討し、民間力の更なる活用支援を図っていく。 							
施策3	関係人口の創出・拡大						達成度評価	担当係等
①	二地域居住など多様な暮らし方・働き方を支援します。						C	人口増推進室
②	首都圏等からのワーケーションを積極的に受け入れ、関係人口や交流人口の創出と拡大を図ります。						B	人口増推進室
③	各集落で実施する関係人口創出事業を支援します。						C	地域振興係/ 人口増推進室
K P I	ワーケーション等のイベント実施回数（回）						人口増推進室	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	3	—	—	—	—	3回以上	100%	
実績		3						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワーケーションの実証と誘致の取組の開始（ワーケーションツアー実績：3回/大人16名・子供5名参加）。 ・ 集落創生事業等を通じた、各集落の取組に対する支援の実施。 ・ 関係人口創出の試験実施として、奈良本地区においてKDDIとの連携による「地域課題解決プロジェクト」を実施。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去に実施した二地域居住の実証実験の実績を踏まえると、受入にあたっては、移動手段、宿泊場所、教育・保育機会の確保等に課題があることから、受入体制の整備を具体的に進め、二地域居住の取組を推進していく。 ・ R4年度は試験的に3回のワーケーションツアーを実施し、ワーケーション先としての魅力やポテンシャルの高さが認識できた一方で、移動手段・宿泊場所の確保等の課題も明確になったことから、今後ワーケーション先として選択されるよに、受入環境の整備を進め、引き続き多様な体験ツアーを実施していく。 ・ 各集落に対し集落創生事業等を活用した関係人口の創出の取組を促していくとともに、関係人口創出の様々な事業について、各集落と協働で試験的に取り組んでいく体制づくりを進めていく。 							


第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野6	移住・交流			
基本方針	移住定住と多様な交流による地域活性化			
政策2	都市との交流・国際交流の推進			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	企画課人口増推進室・地域振興係/産業観光課商工観光係・農政係			
課題と方針	<p>農業や農村体験等による都市住民の滞在型交流を通じて、飯綱町ファンを増やすとともに、インバウンド（訪日外国人旅行者）の受入れや国際交流を拡充して、多文化共生のまちづくりを推進します。</p> <p><重点課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市住民との恒常的な関係構築 ・首都圏における町の認知度の向上・魅力の発信 ・海外からの来訪者が快適に過ごせる環境づくり ・観光情報や交通案内などの多言語対応 			
行動目標	都市とのつながりを大切に、町を超えた交流の輪を広げよう！ To the world from IIZUNA！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	農業体験等参加者数<施策1>	1,067人	2,500人	
	友好都市提携数<施策1、3>	0都市	1都市	
	町民団体が主催する国際交流推進事業数<施策3>	2事業	3事業	
	国際交流事業推進団体数<施策3>	1団体	2団体	
	住民評価	飯綱ファンを増やす取組満足度<施策1>	22.0%	↑
		世界で活躍する人材の育成満足度<施策2>	10.9%	↑
世界の人々を積極的に受け入れる満足度<施策3>		9.2%	↑	
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
C	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いづなりんご学校の取組をはじめ、多様な都市交流の仕組みづくりが進捗。 ・首都圏、関西圏等での農産物販売等の機会拡大や継続的關係づくり、アンテナショップ的機能の構築等が進捗 ・官民協働によるスイスとの交流プロジェクトの開始（ZAC（スイス）と包括連携協定の締結、「飯綱町スイス交流協議会」の設立）。 			
	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏住民や企業等との恒常的な関係構築、飯綱町ファン倶楽部の拡大など。 ・インバウンド対応など、海外からの来訪者等の快適な環境づくり（案内看板やh p等の多言語標記など）の取組が低調。 			
A 順調 (目標以上に進捗)	<p><方向性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏の交流ニーズに応じていく様々な受入体制を構築していくとともに、首都圏等に対して積極的に営業をかけていくことで、来訪者を増やしていくことが必要。 ・飯綱町ファン倶楽部会員数は過去5年で最低数となったことから、町を応援する方との関係づくりや制度内容等について見直しを図っていくことが必要。 ・首都圏等でこれまででに關係を構築してきた事業者との連携を更に深め、官民連携によるアンテナショップ的機能の拡大を図るとともに、大学との交流等を契機に新たな都市交流先を積極的に開拓していく。 ・インバウンド対応や国際交流事業の進捗は低調であるため、「スイス交流プロジェクト」を一つの契機として、多文化共生のまちづくりやグローバル人材の育成等の取組等を加速させていく。 			
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)				
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)				
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)				

施策1	都市間交流の推進						達成度評価	担当係等
①	修学旅行や体験学習、企業研修、体験ツアー、ロケ地利用を積極的に受け入れるなど、町の魅力の認知度を高め、来訪者を増やすきっかけとなる取組を実施します。						B	地域振興係/人口増推進室/ 農政係/商工観光係
②	町を応援してくれる方に対し、定期的な観光・物産情報等の発信や多様な交流機会を創出するなど、恒常的な関係づくりに向けた取組を進めます。						C	商工観光係
③	首都圏において、町の農産物販売やライフスタイル提案等を担うアンテナショップ的機能を官民連携により構築するなど、都市交流の積極的な促進を図ります。						C	農政係
KPI①	農業体験等参加者数（人）						農政係/商工観光係/地域振興係/人口増推進室	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	1,067	—	—	—	—	2,500	43%	
実績	1,073							
KPI②	友好都市提携数（都市）						人口増推進室	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	1	0%	
実績	0							
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・農業体験を主とした各プログラムの実施（りんご学校、農村体験事業、プレミアムりんごオーナー事業等、ワーキングホリデー、農家民泊等）、子育て世代をターゲットとした移住体験ツアー、ワーケーションツアーの実施等。 ・飯綱町ファン倶楽部事業（町の観光・農産物・イベント情報等を年に数回、会員に送付）、飯綱町観光サポーター事業（登録者にサポーター用名刺、パンフレット、イベント情報等を送付しPRしてもらう）等。 ・首都圏百貨店等で農産物の販売や町の魅力発信等の取組など実施。関西圏の「あずさ珈琲」と連携し店舗で継続的に農産物の活用・販売を実施し関西圏のアンテナショップとしての役割・機能を構築。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の来訪者はR2年度水準であったが、分野横断的に様々な体験メニューや交流プログラム展開しており、町の認知度向上や来訪者増に一定の成果が見られる。首都圏では今後も地方との交流ニーズは高いと考えられることから、町資源の再発掘とフル活用により、首都圏ニーズに応じていく様々な受入体制を構築していくとともに、首都圏等に対して積極的に営業をかけていくことで、来訪者を増やしていくことが必要。 ・飯綱町ファン倶楽部会員数は265名まで減少（対前年比60%）し、過去5年で最低数となっている。会員活動の魅力の低下・インセンティブの不足等、様々な要因が考えられるが、関係づくりを恒常的なものとし、更に町のファンを増やしていくためにも、町を応援する方との関係づくり・制度について、今後見直しを図っていくことが必要である。 ・農産物の販路開拓やPR通して、都市圏との交流が生まれ始めているが、十分な成果にまでは至っていない。今後は、「あずさ珈琲」との取組を好例に、これまでで関係を築いてきた事業者との連携を深めていくことで、首都圏における官民連携によるアンテナショップ的機能の構築を図っていく。また、りんご学校参加者による都市部での農産物の販売や、都市部企業の店舗等での販売を進める他、大学との交流できっかけができた下北沢など、新たな都市交流先を積極的に開拓していく。 							

施策2	世界で活躍できる人材の育成						達成度評価	担当係等
①	異文化に触れる学習機会を提供するなど、次世代を担う子どもたちの国際理解を深める教育の充実を図ります。						D	総務教育係
K P I	対応するKPIは住民評価指標のため、次期総合計画策定時に検証・評価							
主な実施事業	・ALT（外国語指導助手）の配置等による、グローバル化に対応した教育の推進。							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
D	<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解を深め、世界的視野を育成できるような町独自のグローバル教育の在り方等について、研究していくことを検討。 ・飯綱町スイス交流協議会が設立されたことから、子どもたちがスイス文化に触れる機会を学校教育の学習題材等として提供できる取組などについて、教育委員会と連携しながら検討していく。 							
施策3	国際交流の推進						達成度評価	担当係等
①	海外の都市との友好都市提携を検討するなど国際交流活動を推進します。						B	人口増推進室
②	国際交流事業を進める団体等を支援します。						A	人口増推進室
③	他市町村との連携により、海外との交流を進めます。						D	人口増推進室
④	ホームページや看板等において町の情報を様々な言語で表示するとともに、同時通訳機の導入など、多文化共生社会の実現を推進します。						D	人口増推進室/ 商工観光係
⑤	インバウンドを含め、地域経済の視点に立って国際交流を推進します。						C	人口増推進室/ 商工観光係
⑥	世界の人々との交流を深める機会を創出するなど、町民全体の国際理解の向上を図ります。						C	人口増推進室
K P I ①	町民団体が主催する国際交流推進事業数（事業）						人口増推進室	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	2	—	—	—	—	3	67%	
実績	2							
K P I ②	国際交流事業推進団体数						人口増推進室	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	1	—	—	—	—	2	100%	
実績	2							
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・官民協働によるスイスとの交流プロジェクトの開始（ZAC（スイス）と包括連携協定を締結し、民間主導による「飯綱町スイス交流協議会」が設立）。スイス交流では、物流や文化交流による地域経済の活性化を重要な観点と位置付け、将来的なインバウンドも視野に交流活動の方向・意義・進め方等の検討を開始。 ・長野地域中枢連携都市圏事業で、日本語教室事業を実施（全38回、町からは1組参加）。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> ・スイスとの交流については、現時点では行政レベル（友好都市提携等）での交流にまでは至っていない。当面は民間を中止とした交流活動として推進を図っていく予定であり、今後はスイスについての情報提供や、町民理解を促すイベント等の開催などを支援していく。また、町民の交流機運の状況を見極めながら、交流活動の具現化を図っていく。 ・ホームページや看板等の多言語対応の取組は遅れている。多文化共生社会を見据える中で、国際的主要言語に対応した環境整備・対応等について引き続き検討していく。 ・スイス交流協議会を一つの起点として、交流機会や理解向上の場づくりなどを積極的に進めていくことが必要。また、町内には様々な国籍の外国人等も在住していることから、こうした外国人材を活用した交流の場づくり等を企画し、国際理解の向上と交流機会の創出を図っていく取組を検討していく。 							

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】


分野6	移住・交流		
基本方針	移住定住と多様な交流による地域活性化		
政策3	誰もがあらゆる分野でいきいきと活躍できる環境づくり		
関連するSDGs			
主な担当課・担当係	保健福祉課福祉係/企画課地域振興係・企画係/教育委員会生涯学習係		
課題と方針	<p>地域内外の交流や世代間の交流を深め、みんなで地域の未来を語り合える機会を確保し、地域づくりの実践的な取組を推進します。</p> <p><重点課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町や地域の課題の認識・課題解決の取組強化 ・地域内外、世代を超えた交流機会の確保 ・地域の将来プランや取組への住民の主体的な参加促進 		
行動目標	地域の行事や集まりに積極的に参加しよう！		
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)
	結婚相談所の利用による婚姻数（累計）<施策1>	3組	20組
	（仮称）いづな若者会議における提案事業実施数<施策1、2>	0件	2件
	集落の将来プラン（将来の姿）を作成した集落数<施策2>	15集落	50集落
	町民講座の開催数<施策2>	1回	2回
	ボランティア活動登録者数<施策2>	150人	250人
	一斉清掃への参加地区数・団体数<施策2>	50地区・0団体	50地区・25団体
	審議会・委員会等への女性委員の登用率<施策3>	21.8%	30%以上
	男女共同参画住民意識調査「男女平等となっている」の回答率<施策3>	42.1%	50.0%以上
	住民評価	共動によるまちづくりの推進満足度<施策2>	22.5%
	誰もが尊重される環境づくり満足度<施策3>	22.4%	↑
	男女が共にいきいきと暮らせる環境づくり満足度<施策3>	19.1%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
B	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・メーラプラザ、いづなコネクトなど交流施設の利用者増、多様な交流機会の創出。 ・いづな若者会議の創設。まちづくり活動支援事業の活用団体増加、まちづくり活動の活性化。 ・協議や意思決定等の場における女性登用の向上、まちづくり活動等での女性活躍の場の増加など。 		
A 順調 (目標以上に進捗)	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落創生事業など集落の主体的な取組等が低調。 ・地域や世代を超えた多様な交流機会の更なる創出。 ・若者世代や女性等、多様な人々が更に「まちづくり」等に参加しやすい環境づくり（新しい考え方等の積極的な導入や多様性を尊重する機運の醸成）。 		
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)	<p><方向性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・メーラプラザやいづなコネクト等の交流拠点を中心に、交流の場づくりが進み一定の成果が見られている。引き続き多世代の幅広い交流促進に向けて、新たな事業や仕組みづくりを進めていく。 		
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)	<ul style="list-style-type: none"> ・集落創生事業は約7割の地区が未実施なことから、引き続き地域おこし協力隊等による支援を強化しながら事業推進を図っていく。 		
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)	<ul style="list-style-type: none"> ・都市部企業や人材との交流プログラム等を継続的に取り組むための体制整備を進めていく。 ・多様性を尊重するまちづくりを目指し、新しい世代の考え方や多世代の意見を日常生活や町施策に積極的に取り入れていく機運の醸成と環境整備を進めていく。また、様々な協議や意思決定等の場に、女性や若者世代等の登用比率を高めるための推進体制を強化していく。 		

施策1	多彩な交流の場の確保・創出						達成度評価	担当係等
①	多世代交流施設等の施設を活用し、多世代の交流や健康増進を促し、移住者同士や町民との交流を推進します。						B	地域振興係/人口増推進室
②	高齢期におけるフレイル予防やコミュニティづくりにつながる通いの場の創出支援を推進します。						B	福祉係
③	結婚に関する相談や結婚を望む独身男女の出会いの場の創出を支援します。						C	福祉係
K P I ①	結婚相談所の利用による婚姻数（累計）（組）						福祉係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	3	—	—	—	—	20	25%	
実績		2（累計5）						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代交流拠点「メーラプラザ」の運営（指定管理者：社会福祉協議会）による交流の場の創出（R4年度施設利用者総数：12,100人） ・学用品リユース拠点・コミュニティスペースZQを活用し、移住者交流や様々な町民交流を促進（R4利用者：延1,433人） ・フレイル予防講座、お元気くらぶ、すてきなおやじさんクラブ等を実施し、高齢期のコミュニティづくりの支援・推進の促進。 ・結婚相談事業、マッチングアプリ活用、お見合い等により、出会いの場の創出支援を実施。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> ・メーラプラザは、指定管理者の創意工夫により、交流の場として一定の成果が見られるが、現状の利用状況は高齢者等が中心となっており、若者から高齢者までの幅広い交流促進に向けては、新たな交流事業・交流の仕組みづくり等を積極的に進めていく必要がある。 ・ZQについては、現在リユースや移住者交流の場等として活用し、一定の利用がある状況であるが、いづなコネクトやメーラプラザ等、町内には多くの交流拠点もあるため、今後の利活用のあり方・方向等を改めて検討していく。 ・フレイル予防講座は作業療法士と連携し、脳トレも取り入れたことでとても好評だったが、高齢者が「参加したい」と感じる講座やメニューづくりに努め、引き続きより多くの参加を得られる通いの場づくりを進めていく。 ・各々の相談者のニーズに合わせて、引き続き多様な出会いの場づくりと結婚支援を図っていく必要があるが、今後は特に「マッチングアプリ」の活用による婚活支援を推進・強化していく。 							

施策2	共動によるまちづくりの推進						達成度評価	担当係等
①	地域集落の課題解決や活性化を図るため、集落の目指すべき姿の実現に向けた集落の自主的な取組を支援します。						D	地域振興係
②	まちづくりに関する講座（町民講座）を開催するなど、地域に貢献する活動に自主的に携わる人材の育成を図るとともに、そうした活動に取り組む団体や町民を						B	企画係
③	（仮称）いいづな若者会議が立案した地域活性化につながるプロジェクトを支援します。						B	地域振興係
④	ボランティア活動を促進するため、いいづなポイントを付与するなど、共動によるまちづくりを進めます。						B	企画係/人口増進室
⑤	地方に興味を持つ都市部の企業や企業人が取り組むことのできる、地域課題の解決につながるようなプログラムを創出し、都市と地方の交流を推進します。						B	地域振興係/地域振興係
⑥	住民から町の取組に関する提案や意見を募集するなど、まちづくりに地域住民の意見を反映します。						C	企画係
K P I ①	（仮称）いいづな若者会議における提案事業実施数（件）						地域振興係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	2	150%	
実績		3						
K P I ②	集落の将来プラン（将来の姿）を作成した集落数（集落）						地域振興係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	15	—	—	—	—	50	32%	
実績		16						
K P I ③	町民講座の開催数（回）						企画係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	1	—	—	—	—	2	100%	
実績		1						
K P I ④	ボランティア活動登録者数（人）						福祉係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	150	—	—	—	—	250	62%	
実績		155						
K P I ⑤	一斉清掃への参加地区数・団体数（地区・団体）						生活環境係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	地区：50 団体：0	—	—	—	—	地区：50 団体：25	地区：100% 団体：52%	
実績		地区：50 団体：13						
主な実施事業	<p>・集落創生事業交付金による、集落の自主的な取組に対する支援の実施。集落創生事業の取組を推進するため地域おこし協力隊員を任用し集落の取組支援の体制強化を促進。町民講座、食の匠育成講座、食育推進体験講座等の開催、まちづくり活動支援事業（補助金交付）等により町づくり活動への支援と人材の育成を促進。いいづな若者会議の設置。行政ポイント付与（全12メニュー）の実施。都市部企業との交流体験プログラムの（KDDI×奈良本集落）の試験実施。住民企画提案制度等の実施など。</p>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<p>・集落創生事業は、集落の課題解決や活性化に一定の成果がみられているが、未実施の地区が約7割となっている。引き続き地域おこし協力隊等による支援を強化しながら事業推進を図っていく。</p> <p>・まちづくり活動支援事業は、まちづくりを進める上での有益な事業として定着している。また、町民講座や食育事業については、行政、各種団体、地域、学校などによる連携を更に強化し、新しいまちづくり事業につなげていく体制づくりを進めていく。</p> <p>・いいづな若者会議については、提案内容の継続的なブラッシュアップ支援など、提案内容を町と共動で推進するプロジェクト実施体制の構築が必要。</p> <p>・地方での課題解決や地方との連携によるビジネス創出に関心のある都市部企業や人材は一定以上あることから、プログラムとして継続的に取り組んでいくための体制整備を進めていく必要がある。</p> <p>・住民意見のまちづくり施策等への反映機会として、住民企画提案事業は一定の意義があるが、効果的に機能するよう制度内容等を改善しながら、継続していく。</p>							

施策3	誰もが尊重される環境づくりの推進						達成度評価	担当係等
①	人権の尊重や男女共同参画社会の実現を推進するため、講演会、講座等の開催や広報等による啓発事業を行います。						C	生涯学習係
②	町の審議会・委員会等に女性委員を積極的に登用するなど、まちづくりの政策・方針決定の場への女性の参画を促進し、女性が住みたくする町を目指します。						C	生涯学習係
K P I ①	審議会・委員会等への女性委員の登用率 (%)						生涯学習係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	21.8	—	—	—	—	30%以上	94%	
実績		28.1						
K P I ②	男女共同参画住民意識調査「男女平等となっている」の回答率						生涯学習係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	42.1	—	—	—	—	50%以上	—	
実績		—					(R7年度調査実施予定)	
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民講座とのタイアップによる男女共同参画フォーラム講演会の開催。 ・ 人権尊重、男女共同参画等の推進については、広報等を通じ定期的に啓発を実施。 ・ 男女共同参画推進委員会において、研修、情報提供を実施するとともに、各委員が母体組織に持ち帰り各組織ごとに男女共同参画の意識の醸成を推進。 ・ 行政関係の組織はもちろん、地域の組織等についても、積極的に女性を登用するよう促すなど、様々な協議や意思決定等の場に、女性登用比率を高めるよう啓発の実施及び要件として定めるなどの働きかけを実施。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人権・男女共同参画の推進には、若者や現役世代の参加を促す呼びかけを強化するとともに、新しい世代の考え方を日常生活や町の施策に積極的に取り入れていく機運の醸成と環境整備を進めていくことが必要。 ・ 今後も、様々な協議や意思決定等の場に、女性登用比率を高めるよう、啓発を実施するとともに、女性の参画を制度・要件として定めていくなど、推進体制を一層強化していくことが必要である。また、女性自身自らが、あらゆる場に積極的に参加しやすい空気づくり等を、行政側から強力に進めていくことで、意思決定等への女性参画と女性がより活躍できる環境づくりを推進していく必要がある。 							

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画） 評価・検証シート 【令和4～8年度】

分野6	移住・交流			
基本方針	移住定住と多様な交流による地域活性化			
政策4	町の魅力を広げる情報発信の推進			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	企画課企画係/産業観光課商工観光係・農政係			
課題と方針	<p>より多くの人々が飯綱町を知って、訪れ、将来的には住んでもらえるよう、町の魅力を地域内外に広く発信します。</p> <p><重点課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の魅力発信による認知度の向上 ・広報における部署間の連携強化、多様な広報媒体の活用 ・効果的な情報発信コンテンツの作成、プロモーションの強化 			
行動目標	地域の行事や集まりに積極的に参加しよう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	町ホームページアクセス件数<施策1>	212,126件	250,000件	
	Facebookフォロワー数<施策1>	729件	1,500件	
	SNS等の広報媒体数<施策1>	3種類	5種類	
	プレスリリース情報発信件数<施策1>	50件	60件	
	住民評価	町の魅力や情報の積極的な発信満足度<施策1>	22.6%	↑
		戦略的なブランド発信満足度<施策2>	30.6%	↑
町の魅力（自然、特産品など）を積極的にPRしている		38.9%	↑	
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
A 順調 (目標以上に進捗)	B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な媒体を活用した情報発信促進。特に、PRTIMESサービスを活用したプレスリリースは、全国の幅広いメディアと企業に情報周知できるため、メディアでの取扱機会の増加と町の認知度向上に寄与。 ・ポータルアプリ「iなびいづな」の開始によるアクセシビリティと情報入手の利便性の向上。 		
		<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真や動画を効果的に活用、発信するための質や技術の確保。 ・訴求力のある情報発信及びSNSの効果的な活用手法など。 ・関係部署間の連携強化、戦略的な情報の発信など。 		
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)	D 遅れている (目標の5割以下の進捗)	<p><方向性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレスリリースやラジオ放送などは、町の取組や事業等の発信だけでなく、町の認知度向上にも寄与していることから、更に効果的に活用していくことで、町の知名度の向上を図っていく。 ・写真や動画をより有効に活用するため、地域おこし協力隊等の人材活用、職員のスキルアップ等を図っていく必要がある。 ・ポータルアプリ「iなびいづな」は、とてもわかりやすく利便性の高いアプリであることから、アプリのダウンロードを引き続き促進していく。 ・SNSなど幅広い媒体の活用による発信強化を図るとともに、求められる情報ニーズを定期的に把握し、発信情報は常にわかりやすく見やすい環境づくりを進めていく。 		

施策1	積極的な情報発信の推進						達成度評価	担当係等
①	町広報紙のほか、公式ホームページやSNS、デジタルサイネージなど多様な広報媒体を用いて、町の事業やイベントなどの情報を広く発信します。						B	企画係
②	町の情報をホームページ・広報紙等に掲載する際に写真・動画等を積極的に活用するとともに、SNS等を活用して町に興味を持った方との双方向のコミュニケーションに努めます。						C	企画係
③	地域のボランティア活動などまちづくりへの主体的な参加の機会となる情報はより積極的に発信します。						C	企画係
④	イベント情報は一元化するなど、誰もが見つけやすく、わかりやすい情報発信に努めます。						B	企画係
⑤	プレスリリースを積極的に行い、継続的な情報発信で町の認知度を全国各地に広めます。						B	企画係
K P I ①	町ホームページアクセス件数（件）							
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	212,126	—	—	—	—	250,000	104%	
実績		260,043						
K P I ②	Facebookフォロワー数（件）							
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	729	—	—	—	—	1,500	52%	
実績		774						
K P I ③	SNS等の広報媒体数（種類）							
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	3	—	—	—	—	5	80%	
実績		4						
K P I ④	プレスリリース情報発信件数（件）							
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	50	—	—	—	—	60	82%	
実績		49						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> フェイスブック（投稿数51）、デジタルサイネージ配信、PRTIMESを活用したプレスリリース配信（発信数49、PV数74,746）、SBCラジオ「飯綱町りんごの里だより」（ラジオ放送12、スポットCM数30、ラジオカーレポート2回）、ウェブサイト「いいいいいづな」、「移住定住支援サイト」等により町の取組やイベント情報等を発信。 ポータルアプリ「いなびいいづな」の運用開始に伴い同アプリとホームページを連携することでアクセシビリティの向上を促進。 							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> プレスリリースやラジオ放送などは、町の取組や事業等の発信だけでなく、町の認知度向上にも寄与していることから、更に効果的に活用していくことで、町の知名度の向上を図っていく。また、若い世代に対しては、SNSによる発信が必須なことから、SNSによる多様な情報発信手法を推進していく。 写真や動画を効果的に活用するためには、クオリティや発信技術等も求められることから、地域おこし協力隊等の人材活用、職員のスキルアップ等を図っていく必要がある。 まちづくりに関する話題や情報については積極的な情報発信に努めているが、発信情報をまちづくりへ等への主体的な参加を促す契機としていくためには、より訴求力が高く効果的に情報を伝えていくことが必要である。 ポータルアプリ「いなびいいづな」は、とてもわかりやすく利便性の高いアプリであることから、アプリのダウンロードを引き続き促進していく。 PRTIMESのサービスを活用したプレスリリースは、全国の様々な媒体に対し効果的に町の取組を発信することかでき、各メディアに町の話目を多く取り上げられることにつながっていることから、町の認知度を更に高めるために引き続き同サービスを活用したプレスリリースを強化していく。 							

施策2	戦略的なブランド発信の推進	達成度評価	担当係等
①	アップルミュージアムの多様な施設機能を活かして、りんごを核にした町の魅力を積極的に発信します。	B	商工観光係/企画係
②	花や緑を活かしたイベント開催などを通じて、町の美しい景観や豊かな自然の魅力を積極的に発信します。	B	商工観光係/企画係
K P I	対応するKPIは住民評価指標のため、次期総合計画策定時に検証・評価		
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・アップルミュージアムの機能を活用した、りんごを中心とする様々な発信活動を実施。 ・いづなまち花まつりの開催により、町内外に町の自然の美しさ、豊かさを発信。 ・様々な情報発信媒体を活用し、「りんご」や「自然環境」の魅力に徹底的にこだわった積極的な発信を実施。 		
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊等の活用により、アップルミュージアムの施設機能・活用を強化するとともに、運営協力員や町民による情報発信の仕掛けや仕組み等も検討し、より効果的な情報発信を図っていく必要がある。 ・町の景観や自然の魅力を象徴する「花まつり」は広く認知されており、町の自然の魅力を効果的に発信する機会となっている。今後もイベント内容を随時改善しながら、更に効果的に自然の魅力を発信していく。 ・花まつりやりんごの情報は鮮度が重要になるため、リアルタイムで生きた情報を発信できるよう、SNS等による動画等の活用を増やしていく。 ・引き続き、りんごと自然環境の魅力を中心とした情報発信を進めていくため、関係部署間との連携を強化し、訴求力の高い情報をより効果的・戦略的に発信していく体制を整備していく。 		